

# 資料編



## ■東部保健福祉事務所情報 関連資料■

- 東北地方太平洋沖地震関連現地情報.....1  
(第1号～第9号、他)
- 宮城県東部保健福祉事務所復興支援ニュース.....15  
(創刊号～vol.8、宮城県震災復興計画特集号)

## ■東部保健福祉事務所地域保健福祉部 関連資料■

### 【保健活動関係】

- 3.11 東日本大震災で4日間水没した宮城県東部保健福祉事務所（宮城県石巻保健所）での保健活動 .....20  
(H23.8.20 看護管理者研修発表資料 北部保健福祉事務所 臼井玲子)
- 東日本大震災における保健活動について～女川町乳幼児健診再開への支援～ .....22  
(H23.8.25 群馬県小児保健会総会並びに研究集会発表資料 成人・高齢班 宮川暁子)
- 東日本大震災関連 宮城県の状況.....30  
(H23.10.12 平成23年度感染症危機管理研修会発表資料 石巻保健所長 大久保久美子)
- 被災した保健所での保健活動～地域保健活動を軌道にのせるまで～ .....34  
(H23.10.20 第70回日本公衆衛生学会発表資料 母子・障害班 粕谷祐子)
- 東日本大震災における被災側の保健所と支援側の保健所の立場から  
～宮城県の被災保健所の対応と課題、今後の対策～ .....37  
(H23.12.3 平成23年度地域保健推進戦略会議（東北ブロック）発表資料 石巻保健所長 大久保久美子)
- 東日本大震災に伴う保健活動について～これまでの取り組みを振り返って～ .....41  
(H24.1.14 宮城県保健師連絡協議会業務交流会発表資料 成人・高齢班 小川美穂)
- 女川町での保健活動について .....45  
(成人・高齢班 宮川暁子)
- 東日本大震災での保健活動 ～保健所保健師の総括的立場から～.....48  
(H24.2.2 宮城県保健福祉部業務発表会発表資料 気仙沼保健福祉事務所 阪本喜恵子)
- 災害時の県保健師による市町村保健活動支援について  
～石巻市役所に常駐した支援の利点と今後の課題～ .....51  
(H24.2.2 宮城県保健福祉部業務発表会発表資料 気仙沼保健福祉事務所 只野里子)

## 【感染症関係】

○避難所サーベイランスマニュアル .....	54
○避難所リスクアセスメント調査表.....	57
○石巻保健所感染症かわら版（創刊号～第4号、号外） .....	58
○感染症発生動向調査／石巻感染症情報.....	62

## 【リハビリテーション関係】

○被災地（現地）の現状と福祉用具支援の現状報告.....	63
（H23.10.8 東日本大震災と福祉用具支援・セミナー発表資料 成人・高齢班 武田輝也）	
○被災地における福祉住環境整備の取り組み .....	70
（H24.2.2 宮城県保健福祉部業務発表会発表資料 成人・高齢班 武田輝也）	
○パンフレット 仮設住宅の「使いにくさ」にお困りの方へ.....	75
○被災地の現場から～要援護者と生活環境支援～ .....	77
（福祉介護 TECHNO プラス 2012.1 掲載原稿 成人・高齢班 武田輝也）	

## 【栄養関係】

○学校における食育に期待すること ～震災後の食をめぐる現状を踏まえて～ .....	82
（H23.11.22 石巻市食育研修会発表資料 成人・高齢班 庄子聡子）	
○災害現場の栄養士活動.....	86
（H24.2.18 平成23年度健康づくり指導者研修会「栄養指導ステップアップ研修会」発表資料 成人・高齢班 庄子聡子）	



○掃除マニュアル.....	92
○避難所におけるトイレ衛生化計画書（案） .....	93
○震災時における石巻市内のトイレ事情の変化と衛生管理について.....	97
(H23.11.4 平成 23 年度全国環境研協議会廃棄物資源循環学会併設研究発表会発表資料 廃棄物対策班 藤原成明)	
(H24.1.27 平成 23 年度環境衛生技術職員研修会発表資料)	
○石巻市を事例とする震災時におけるし尿・生活排水処理の実情と今後の課題.....	104
(名古屋大学エコトピア科学研究所資料)	
○石巻地域における被災建築物由来の石綿の飛散防止及び健康被害防止に係る取組みについて.....	108
(H24.1.27 平成 23 年度環境衛生技術職員研修会発表資料 環境対策班 宍戸文彦)	
○東日本大震災の被災に伴い移転した水質汚濁防止法に基づく特定事業場に係る調査.....	111
(H24.1.27 平成 23 年度環境衛生技術職員研修会発表資料 環境対策班 大塚智史)	
○震災廃棄物関連データ .....	113
○環境モニタリング関連データ .....	115

本庁への情報発信のために作成したもの

### 東北地方太平洋沖地震関連現地情報

—東部保健福祉事務所通信 第1号—

平成23年3月24日  
東部保健福祉事務所

#### 東部保健福祉事務所（石巻保健所）は、 県立石巻西高等学校に移転しました。

住 所：東松島市赤井字七反谷地27  
連絡先：090- (携帯電話)  
090- (携帯電話)

(お願い)

電話の取替は学校の負担になりますので、学校の電話番員へは掛けないようお願いいたします。

#### 【大久保保健所長からの情報】

- ◎県から避難所の感染管理上のリスク・アセスメントを行うようシートができた。3/31まで日赤救援チーム、各市町の避難所巡回、保健所の避難所巡回に協力してもらって実施する。
- ◎避難所の衛生対策について、日赤の認定看護師、自衛隊と協力してやっていく。3/25午後5時より石巻日赤の本部で打合せ、当事務所の森谷保健師が出席の予定。
- ◎県派遣から派遣要請の他県からの救援チームも石巻日赤の管理下で活動している。医療救援関係は石巻日赤が担当し、医療コーディネーターの石井医師が統括。

#### 【各市町への職員派遣状況】3/23～3/28(第2クール)

区分	石巻市	東松島市	女川町	備考
避難所保健師	森谷 寿子(保)	宮川 瑛子(保)	高橋 文子(保)	
リハセンター	目黒 孝明(事)	阿部 三浦 千葉敦子(保)		
本部連絡員	谷地 森将典(事)	菊地 浩(技)	遠藤 高志(事)	

#### 【医療従事者免許証交付申請手続き関係】

地震災害により石巻西高校の一角を仮事務所として業務運営していることから、各市町へ向いて巡回受付事務を行う。

3月28日(月)～3月30日(水)	石巻市
3月31日(木)～4月1日(金)	東松島市
4月4日(月)～4月6日(水)	石巻市
4月7日(木)～4月8日(金)	東松島市

※ 受付時間、受付会場については、FM石巻、地元紙(石巻まほく、石巻日々新聞)及び各市町の庁舎内に掲示予定。

- 1 -

#### 【現地連絡員から】

◎ 女川町(3月24日(木)18:00現在)

- ①女川第二小に診療舎の機能を持たせ、パソコン10台を配備する予定。
- ②防災ファックスが設置された。
- ③022- - - 関交省の音声案内- - -
- ④インターネットは、今後10日間前後で通じる予定。
- ⑤町民課で午前10時から午後3時までの時間帯で、住民票、身分証明書を発行。
- ⑥業務に従事している職員の中で、風邪(インフルエンザ様症状)が発生してきており、予防としてマスクが配布された。
- ⑦台湾からの医療チームが石巻日赤で受け入れた。
- ⑧総合体育館、テニスコートに洗い場、物干し場ができた。
- ⑨総合体育館での給水は、本日検査を待って給水予定。
- ⑩日常生活用の物品が不足している。(パーテーション、調味料、食事用のトレー、食器(皿、井など))
- ⑪仮設住宅の建設予定地
  - ・女川第一小、第二小、場合によっては女川高校
  - ・上記のほか、江島、出島(学校のグラウンドに2戸)に建設予定。
  - ・他の市町村と同時に建設してもらいたい旨県に申し入れた。
  - ・土木部長、保健福祉総務課の泉総括補佐などが訪れた。
- ⑫安否確認情報
  - ・生存者 8,069人
  - ・行方不明 762人
  - ・遗体安置 243人
  - ・避難者 2,584人(21ヶ所)

#### ◎ 連絡網

東部保健福祉事務所対策本部  
090-  
090-

石巻市  
090-  
090-  
0225-

東松島市  
080-  
080-  
0225-

女川町  
090-  
女川町総合体育館  
(衛生携帯)080-  
080-

- 2 -

#### 【総務企画班から】

3月25日 16:00現在

#### ◎お知らせ

- ・公用車が2台追加されます。(電気自動車、ガソリン車 各1台) 28日午前中は届きます。
  - ・新年度からのコピー機の手配ができそうです。(設置は1台のみ・4月以降未定)
  - ・県庁とのメール便のやりとりが可能になります。
- 企画総務班に区分箱設置(発送10:30前切 11:00受取)「ふけんみやぎ」便を利用

3月25日 10:00現在

#### ◎ 通勤配車計画(3月25日現在)

【仙台方面】

大久保車—斎藤(香)、庄子、遠藤、佐藤(昭)  
八 車—遠藤(高)、岡、藤原、及川、菊地、篠塚  
鈴木 車—

【古川方面】

松 車—橋本、山口、大泉

【塩釜・多賀城方面】

公 用 車—高橋、泉澤、菅野、木立、石垣

#### ◎ 緊急対応宿直計画(3月25日現在)

3月24日(木)～3月25日(金) 佐藤(勝)、岡本  
3月25日(金)～3月26日(土) 橋本、千葉(香)  
3月26日(土)～3月27日(日) 山口、谷地森  
3月27日(日)～3月28日(月) 大泉、千葉(宏)

#### ◎ お知らせ

- ・パソコンがようやく入りました。(ネットワークへの接続はできません。)
- ・コピー機1台を設置しました。(設置場所→多目的室)

- 3 -

#### 【地域保健福祉部から】

#### 【生活保護担当】

- ◎生活保護費の4月定額支給分の入力作業が終了しました。(北部保健事務所で作業、山口次長が従事)
- ◎生活保護受給者の安否確認調査が終了しました。
  - ・調査期間 3月19日(土)
  - ・対象施設 女川町避難所、女川町健康福祉課生活保護担当係長
  - ・被災の状況 保護世帯総数62世帯のうち、生存(一部不明者はいる)42世帯、行方不明20世帯
  - 保護受給者総数87人のうち生存57人、行方不明30人

#### 【成人・高齢班】

- ◎介護保険施設の被害状況調査が終了しました。
  - ・調査期間 3月19日(土)、22日(火)
  - ・対象施設 特養15、老健0、養護1、軽費5
  - ・被災の状況 入所者 死亡9(不若園6、万生園3) 行方不明40(不若園40)
  - ・管内栄養士の安否状況 東松島市在宅栄養士1名死亡(3/23現在)
  - ・避難所の状況 石巻市:アレルギ→対応食配布 高齢者:えん下困難者用食品配布予定 女川町:食事・栄養状態の調査実施予定

#### 【母子・障害班】

- ◎認可保育所の被害状況調査を随時実施しています。
  - ・調査日 3月19日(土)
  - ・対象施設 石巻市、東松島市、女川町の公立保育所
  - ・被災の状況 地震、津波時に保育所にいた児童・保育士は全員無事でした。ただし、迎えに来て帰った子どもについては、現在安否確認中

#### 【疾病対策班】

- ◎麻疹・結核患者等の被害状況調査が終了しました。
  - ・麻疹罹患者1名(東松島市)については、風邪ということでした。
  - ・レジオネラ菌の発生届けを東北次から受け、本人は置体(石巻市内・男性61歳)
  - ・各市町避難所に対しリスクアセスメントを実施し、結果が出た1指事に入る予定
  - ・今後、発生が予想される感染症に注意喚起する。

- 4 -

【環境衛生部から】

〔食品衛生班〕  
 ・避難所の食品衛生指導をしています。3月24日(木)までに、石巻市13ヶ所、東松島市2ヶ所、女川町16ヶ所をまわりました。

〔黙疫課事班〕  
 ・2市1町土葬開始に伴う現場確認を終了しました。  
 3月22日(火)東松島市大塩  
 3月23日(水)石巻市日和山北崩山墓地  
 3月24日(木)女川町葦原の神公墓  
 ・国からの一般用医薬品をの配達を行いました。  
 3月24日(木)東松島市、女川町

〔環境対策班〕  
 ・国から消石灰受給調整の要求が入っている。

〔廃棄物対策班〕  
 ・石巻市のし尿処理施設が甚大な被害、避難所の衛生確保のためにもエリアを超えた、トイレのくみ取り等が急務  
 ・石巻広域事務組合のゴミ焼却炉が致命的損傷、修繕まで3ヶ月か。  
 市内の道路は災害ゴミの山、さしあたっては、生活ゴミの処理が急務、エリアを超えた処理の応援体制を切望

東北地方太平洋沖地震関連連地情報  
 - 東部保健福祉事務所通信 第2号 -

平成23年3月26日  
 東部保健福祉事務所

【3月27日の動き】  
 ○村井知事の現地視察

3月27日(日) 12:00 ヘリで県庁出発  
 12:40 女川町到着  
 町長と避難所訪問 → 総合体育館 → 自衛隊現地本部訪問  
 13:40 ヘリで女川町出発  
 14:00 ヘリで県庁到着

○県災害対策本部東部地方支部会議の開催

3月27日(日) 15:30 JAIいのまき・産業経済センター 2階 大会議室  
 ※ 各地方機関からの情報提供資料は、20部準備のこと。

○ 東部保健福祉事務所(石巻保健所)への連絡は、次のとおりです。

企画総務班	090-	(防災携帯電話)
	090-	(同上)
地域保健福祉部	090-	(防災携帯電話)
	090-	(同上)
環境衛生部	090-	(防災携帯電話)
	090-	(同上)

【各市町への職員の派遣状況】

区分	石巻市	東松島市	女川町	備考
派遣職員	森谷 弓子(保) 目黒 孝明(事) 和泉かほる(保)	宮川 鏡子(保) 阿倍 寿信	千葉 敦子(保) 三浦 植	※ 3/23~3/28 (第2クール)

※ 各市町で開催される災害対策本部会議(毎日午前・午後1回づつ)には、派遣職員のうち1名が出席し、会議の概要を迅速に東部保健福祉事務所あて報告すること。

【現地連絡員から】

○ 石巻市(3月26日(土)15:00現在)

- 兵庫県から避難所用に1人用ミスト風呂が送られてきた。→配布先は、今後調整の予定。
- 現地連絡員への連絡先  
090- 090- 0225-

○ 東松島市(3月26日(土)15:00現在)

- ケアマネージャー協会と協力して、避難所の要介護者支援のため、ボランティアを導入。
- 診療可能な診療所、病院が増えてきた。
- 現地連絡員への連絡先  
080- 080- 0225-

○ 女川町(3月26日(土)15:00現在)

- 鳥取医療チームより依頼あり。ノロウィスの簡易検査を石巻日赤で行いたい。  
→ 日赤医療災害対策本部(☎0225-)へ医療チーム、又は女川病院より直接電話するよう回答した。(3/25 8:35・電話受理)
- ノロウィスの簡易検査は、女川病院より石巻日赤へ連絡した。
- 下痢、嘔吐、発熱の症状を訴える住民などが、避難所の中で広がっている。  
3/27に避難所の一斉清掃、区別りの整理を行う。なお、避難所内は下足厳禁とする。  
(3/25 11:30・電話受理)
- 現地連絡員への連絡先  
090- 総合体育(衛生携帯)  
080- 080-

東北地方太平洋沖地震関連連地情報  
 - 東部保健福祉事務所通信 第3号 -

平成23年3月28日  
 東部保健福祉事務所

○ 東部保健福祉事務所(石巻保健所)への連絡は、次のとおりです。

企画総務班	090-	(防災携帯電話)
	090-	(同上)
地域保健福祉部	090-	(防災携帯電話)
	090-	(同上)
環境衛生部	090-	(防災携帯電話)
	090-	(同上)

○県災害対策本部東部地方支部会議の開催

3月27日(日) 15:30 JAIいのまき・産業経済センター 2階 大会議室  
 参加範囲: 東部地方振興事務所・東部県務事務所・東部保健福祉事務所・東部土木事務所・石巻港湾事務所・東部教育事務所  
 ○ 各機関の活動状況・情報交換等を実施

【各市町への職員の派遣状況】

区分	石巻市	東松島市	女川町	備考
派遣職員	小川 英穂(保) 武田 輝也(事)	佐藤(由)(扶) 狩野ウラ子(保) 栗津	小川美由紀(保) 八巻 晋田 康典(事)	※ 3/28~4/2 (第3クール)

※ 各市町で開催される災害対策本部会議(毎日午前・午後1回づつ)には、派遣職員のうち1名が出席し、会議の概要を迅速に東部保健福祉事務所あて報告する。  
 3月28日から、石巻市各総合支所に対して保健師の巡回指導を開始。

【現地連絡員から】

○ 女川町(3月26日(土)18:00現在)

- グランディ21の退体安置所へのバス運行(女川体育館発)3/28～(ボランティアの協力)
- 避難所の収容人数は増ばい状態
- 水道→女川体育館OK(管の補修・石浜 調査中)
- 仮設住宅 第一小学校に40戸建設予定
- 石巻商業高校・石巻北高校→4/20までに避難所を移行。出島地域の住民の引取りをする予定。
- 保福寺で風邪が流行中。
- ・対策本部会議概要
- 捜索班:自衛隊車両により3/28より行方不明者の捜索を開始。
- 避難所班:資源エネルギー庁よりガソリンがドラム缶10本届く予定。パーテーションが壊れたので、区画整理を行う。
- 内閣府が来町。
- 福島原発の不安拡大。モニタリングの結果を知りたい→東部地域復興事務所対応。
- 感染症は終息傾向にある。

○ 女川町(3月27日(日)10:00現在)

- ・対策本部会議概要
- 避難者数:2,584名(うち総合体育館799名 増増)
- 行方不明者数 813名
- 退体安置数 273名
- 総合体育館では、罹災者多数あったものの、1日4回の換気と水運復旧により終息傾向に向かっている。
- 医療チームの巡回の結果、感染性胃腸炎は拡大なし。
- 現地連絡員への連絡先
- 90-
- 総合体育(衛生携帯)
- 80- ○80-

【総務企画班から】

・3月28日～4月8日

○お知らせ  
医療従事者の交付申請受付を、石巻市役所、東松島市役所に当所担当者が出張して受付を開始。

○ 緊急対応宿直計画(3月25日現在)  
3月28日(月)～3月29日(火) 篠塚、穴戸  
3月29日(火)～3月30日(水) 佐藤(明)、木立

○ お知らせ  
・登来よりの公用車が一台が入りました。  
・電気自動車一台が入りました。  
・携帯電話4台が入りました。

【地域保健福祉部から】

【生活保護担当】

○生活保護費の4月定例支給事務についての調整。  
打合:3月28日 女川町仮設役場  
・調整結果:支給日 4月5日  
支給場所 女川町仮設役場  
支給方法 東部保健福祉事務所 生活保護担当が支給する。  
未行しなかった者については、4月6日～4月8日に東部保健福祉事務所職員が個別訪問予定

【成人・高齢班】

○介護保険事業所の居宅サービス事業所の被害状況について電話等により調査(継続中)  
○管理栄養士が避難所における栄養状況について意見交換(石巻市・女川町)

【母子・障害班】

○認可保育所の被害状況調査を随時実施しています。  
・調査日 3月24日(木)  
・対象施設 女川町の公立保育所  
・被災の状況 地震、津波時に保育所にいた児童・保育士は全員無事でした。しかし、家族の方につれられて帰った児童6人が行方不明となっています。

【疾病対策班】

○ 石巻市の各総合支所へ保健師を派遣し、巡回指導の実施を開始しました。

【環境衛生部から】

【食品衛生班】

・震災前に申請のあった営業施設の現状確認を実施している。  
・3月25日 離所食品衛生指導:石巻市内2ヶ所、東松島市1ヶ所を巡回。  
・3月28日 離所食品衛生指導 石巻市内及び河内方面巡回予定。

【獣疫班】

・死亡重傷地区の埋却地の現地調査を行いました。  
3月26日 東松島市大塩地区40頭  
3月28日 石巻市針筒 2頭  
・毒劇物の遺出事象等の連絡がありました。  
3月26日 石巻市立大川小学校から、苛性ソーダ、硫酸、メタルを発見  
3月28日 宮城県水産技術総合センターから劇物(塩酸、苛性ソーダ、ホルマリン)が流出  
・動物愛護センター及び大崎保健所の協力により放浪犬等の搬送を行っているが、当所の畜犬ハローカーがないことから苦情や咬傷事故等の緊急対応ができない現状にある。

【環境対策班】

・国から消石灰受給調整の要求が入っている。

【廃棄物対策班】

・廃棄物処理相談対応  
・仮設トイレの状況調査実施  
・廃棄物処理施設の被害状況調査

東北地方太平洋沖地震関連連地情報  
—東部保健福祉事務所通信 第4号—

平成23年3月29日  
東部保健福祉事務所

○ 東部保健福祉事務所(石巻保健所)への連絡は、次のとおりです。

企 画 総 務 班	090-	(防災携帯電話)
	090-	( 同 上 )
地域保健福祉部	090-	(防災携帯電話)
	090-	( 同 上 )
環 境 衛 生 部	090-	(防災携帯電話)
	090-	( 同 上 )

※ 東部保健福祉事務所は、現在、石巻高等学校に仮事務所を置かせていただいておりますが、学校への電話は教職員のみとなりますので、上記の携帯電話にかけていただきますようお願いいたします。

【各市町への職員の派遣状況】

区 分	石巻市	東松島市	女川町	備 考
派 遣 員	小川 美穂(保) 武田 輝也(事)	佐藤(由)(技) 狩野クラ子(保) 粟津	小川美由紀(保) 八巻 肯典(事)	※ 3/28～4/2 (第3クール)

※ 各市町で開催される災害対策本部会議(毎日午前・午後1回づつ)には、派遣職員のうち1名が出席し、会議の概要を迅速に東部保健福祉事務所へ報告する。  
3月28日から、石巻市各総合支所に対して保健師の巡回指導を開始。

【現地連絡員から】

○ 女川町連絡員 青田さんから (080- )

- 3月28日(月)16:00からの対策本部会議内容について
- 避難所数21、人数2,584人、行方不明者837人  
 遗体安置数296人
  - あさひがおか避難所を閉鎖(避難者数1名、勤労青少年センターへ移動)
  - 総合体育館に洗濯機10台設置された。
  - 保健班について  
 診察を継続予定。木村医師による巡回も。
  - 医師班について  
 診察を継続予定。体調不良者が多いため、チームの増員を希望する声も聞かれる。
  - 保健師(薬原から派遣)活動内容  
 心のケアを中心に、感染対策、健康相談を行っている。
  - がれき処理に関し、基本的には分別して処理する方針とのこと。
  - コパルトライン3/28女川から2kmの地点で崩壊し通行止め、復旧は未定。
  - 避難所班  
 総合体育館804名で風邪がはやっていたが、減少傾向。  
 水道がでて衛生状況が改善した。また、大掃除の効果も見られる。
  - 保護班  
 救護所は1日中活動している。  
 「ばんぶきん」の移動入浴車が3台申し出があった。  
 洗濯機の提供もある。
  - 石巻県立高伏等に避難していた200名、戻る予定。
  - 女川町の電話(NTT回線)は4月1日に復旧する見込み。以降は、以前の電話番号で連絡可能となる。

【総務企画班から】

- お知らせ  
 医療従事者の交付申請受付を、石巻市役所、東松島市役所に当所の担当者が出張して受付を行っています。  
 石巻市役所2階健康推進部窓口 3月28日～3月30日 10:00～16:00  
 4月4日～4月6日 10:00～12:00  
 東松島市役所失本保健相談センターホール  
 3月31日～4月1日 10:00～16:00  
 4月7日～4月8日 10:00～12:00
- ※ 申請についてのお問い合わせは宮城県医療整備課医務班・看護班まで  
 電話022-211-2614・2615

○ 緊急対応宿直計画(3月25日現在)  
 3月29日(火)～3月30日(水) 佐藤(明)、木立

【地域保健福祉部から】

- 【生活保護担当】  
 ○保護受給者等の安否確認  
 ・登米市の施設に移送されている受給者を確認。  
 ・世帯分離している受給者の母が行方不明となっていることを確認
- 【成人・高齢班】  
 ○昨日に続き介護保険の居宅サービス事業所の状況について電話等により継続調査。  
 ○管理栄養士が石巻市社協総合支所に、避難所の栄養状況について保健師とともに打合せにいった。
- 【母子・障害班】  
 ○認可保育所の被害状況調査を随時実施しています。  
 ・調査日 3月25日(金)  
 ・対象施設 東松島市の公立保育所  
 ・被災の状況 地震、津波時に保育所にいた児童・保育士は全員無事でした。しかし、家族の方につられて帰った児童8人が亡くなり、3人が行方不明となっています。  
 (東松島市の公立保育所の全体の被害です。)
- 【疾病対策班】  
 ○石巻市の各総合支所へ保健師を派遣し、巡回指導の実施を開始しました。

【環境衛生部から】

- 【食品衛生班】  
 ・3月25日 避難所食品衛生指導、河南方面3ヶ所巡回。  
 ・3月29日 避難所食品衛生指導、石巻市内及び河北方面巡回予定。
- 【獣疫薬事班】  
 ・被災地区(東松島市大塩、石巻市万石浦)の畜犬パトロールを行いました  
 ・死亡重傷地区の埋却地の現地調査を行いました。  
 石巻市上島山 約200頭  
 石巻市北上 1頭  
 ・3月29日以降の動物仮設診療所の設置について関係機関と調整しました。
- 【環境対策班】  
 ・石巻市内の防疫(ヘドロ等の消毒)検討中  
 ・3R推進会議企業の高田商店(登米市)が3月29日来所。業界(リサイクル団体協議会、産協支所)あけての協力、支援の用意がある旨の申し出を聴き取った。
- 【廃棄物対策班】  
 ・廃棄物処理相談対応  
 ・仮設トイレの状況調査実施  
 ・廃棄物処理施設の被害状況調査

東北地方太平洋沖地震関連現地情報  
 —東部保健福祉事務所通信 第5号—

平成23年3月30日  
 東部保健福祉事務所

○ 東部保健福祉事務所(石巻保健所)への連絡は、次のとおりです。

企画総務班	090-	(防災携帯電話)
	090-	(同上)
地域保健福祉部	090-	(防災携帯電話)
	090-	(同上)
環境衛生部	090-	(防災携帯電話)
	090-	(同上)

※ 東部保健福祉事務所は、現在、石巻高等学校に仮事務所を置かせていただいておりますが、学校への電話は総務員の負担となりますので、上記の携帯電話にかけていただきますようお願いいたします。

【各市町への職員の派遣状況】

(第3クール)

区分	石巻市	東松島市	女川町	備考
派遣職員	小川 美穂(保) 武田 輝也(事)	佐藤(由)(技) 狩野クラ子(保) 粟津	小川美由紀(保) 八巻 青田 康典(事)	※ 第3クール 3/28～4/2

※ 各市町で開催される災害対策本部会議(毎日午前・午後1回づつ)には、派遣職員のうち1名が出席し、会議の概要を迅速に東部保健福祉事務所へ報告する。  
 3月28日から、石巻市各総合支所に対して保健師の巡回指導を開始。

【現地連絡員から】

○ 東松島市連絡員 佐藤(由)から

本部会議内容、他  
 ①被災自動車の処理について  
 被害が甚大で市町村自ら処理することが困難なので、地方自治法252条の14の規定に基づく事務の委任により、県に被災自動車の処理をお願いしたい。(石巻地方2市1町で推定6万台)→手続きについて資源循環推進課で検討中  
 ②大曲小、矢本二中の校舎の消毒について、HICにも協力指導をもらっているところ。よろしく願いたい。  
 ③災害ゴミの受入開始(場所:大曲浜有地)→添付資料(企画総務で保管)  
 ④震災ゴミ撤去の優先順位方針→添付資料(企画総務で保管)

○ 石巻赤十字病院救護チーム打合せ会議 概要(保健所関係分) 詳細資料は企画総務

- 1 感染症関係  
 ・感染症リスクアセスメントシートによると、発熱、せき、嘔吐の症状  
 インフルエンザ4名診断  
 ・日赤でも肺炎患者が増えた  
 ・以上はガレキのホコリが原因  
 ・サージカルマスクをきちんと着用し、口の中をきれいにして。寝てばかりもだめ。
- 2 保健所からの要請について 出席者への連絡  
 ・結核、破傷風、はしか、インフルは保健所に届出を。  
 ・アセスメントシートへの記入でもいいので報告願いたい。
- 3 その他  
 ・救護に係る医療のあり方について、種々の意見交換

【総務企画班から】

○お知らせ  
 公用車使用簿を設置しました。明日(3/31)より記入をお願いします。  
 なお、公用車使用の際は、利用表にも記入して、重複予約のないように心がけてください。

○緊急対応宿舎計画(3月30日現在)  
 3月30日(水)～3月31日(木) 泉澤、岡本

【地域保健福祉部から】

【成人・高齢班】

- ・管理栄養士が避難所食事栄養状況について、北上総合支所、雄勝総合支所に話し合いに行った。(保健師に同行)
- ・居宅介護保険事業所の活動状況について、電話により継続確認中。
- ・介護保険事業担当者が、北上総合支所に出かけた。(保健師、栄養士同行)

【母子・障害班】

- ・認可保育所及び認可外保育所の被害状況調査を随時実施しています。
- ・石巻市の各総合支所へ保健師を派遣しています。(3/28～3/30)

【疾病対策班】

- ・リスクアセスメント対応(石巻市内)  
 生活保護担当
- ・北部保福にて3月分医療券及び基本データ出力
- ・ケース記録票等回収

【環境衛生部から】

【獣疫業務班】

- ・動物愛護センターの協力を得て避難所にドックフードを搬出しました。
- ・大崎保健所の協力を得て被災地区(石巻市渡波地区等)の畜犬パトロールを行いました。
- ・医療機関及び薬局の被災状況調査を開始しました。
- ・死亡獣畜の埋却状況を確認しました。  
 東松島市 20頭

東日本大震災関連現地情報

—東部保健福祉事務所通信 第6号—

※政府が、4月1日に今回の震災の正式名称を「東日本大震災」としたことから、今号より、名称を変更いたします。  
 平成23年4月1日  
 東部保健福祉事務所

○ 東部保健福祉事務所(石巻保健所)の連絡先

企画総務班	090-090-	(防災携帯電話)
地域保健福祉部	090-090-	(防災携帯電話)
環境衛生部	090-090-	(防災携帯電話)

※ 東部保健福祉事務所は、現在、石巻西高等学校に仮事務所を置かせていただいておりますが、各校への電話は教職員の仕事となりますので、上記の携帯電話にかけていただきますようお願いいたします。

【各市町への職員の派遣状況】

区分	石巻市	東松島市	女川町	備考
派遣職員	小川 美穂(保)	佐藤(由)(技)		※ 第3クール
応援派遣職員	武田 輝也(事)	狩野夕子(保)	小川美由紀(保)	3/28～4/2
		栗津正貴(PT)	八巻 直江(保)	
			青田 康典(事)	

(派遣職員)の主な活動状況  
 ・ 3市町の保健活動状況の把握と情報提供、活動支援  
 ・ 情報連絡員は市町の災害対策本部会議に参加し、事務所に報告する。

(西宮内での活動状況)  
 石巻市の各総合支所等(河北、河南、桃生、牡鹿、雄勝、北上)に保健活動状況を把握するために訪問した。

※第4クール(4月2日～5日)は、仙南保健福祉事務所、仙台保健福祉事務所、北部保健福祉事務所、中央児童相談所、リハビリテーション支援センター、ねんりんどう館推進室から、市町村に派遣する保健師、保健師補助員、連絡員の応援をいただけることとなりました。

【避難所におけるトイレ衛生化計画】

石巻市における各避難所の屋内トイレが極めて不衛生であるため、それが避難所全体を不衛生にしている状況が認められる。この状況が継続している中で、感染症、食中毒等が発生すると避難所内、避難所周辺地域で一気に感染症が拡大することが危惧されることから、直ちに対策に着手する必要がある。

- また、避難期間が長期化することが予測されているため、トイレを清潔に保つこと等により高齢者が多い避難住民の健康管理・生活環境全般の質の向上を図る必要がある。
- 目的  
 ・避難所屋内トイレ、屋外仮設トイレを衛生的に管理することによる感染症、食中毒等の発生を予防する。  
 ・トイレを衛生的に利用する方法の周知  
 ・高齢者に対する配慮(簡易トイレの普及と促進)

○実施経緯

- ・3月28日 石巻市、石巻保健所、石巻環境保全事業共同組合、自衛隊、避難所運営者、ボランティアの合同チームによる打ち合わせ
- ・3月30日に建設公民館
- ・3月31日に建設小学校を実施。

以後順次、各避難所を巡回して実施していく予定。

【現地連絡員から】

○ 東松島市連絡員

第47回東松島市災害対策本部会議の概要(平成23年4月1日 18時)  
 ・震災ごみの除去等:公共用地的がれき及びヘドロを、建設業協会及び自衛隊が西浜に搬入している。  
 ・県相談窓口開設:4月1日より地方振興部職員及び県税職員が常駐。(東松島市のみの)  
 ・仮埋葬等:4月1日 18体埋葬(計263体) 総遺体数811人  
 3月31日に発見された牛6頭を埋葬。(計26体)  
 がれき、家庭等の消毒用として、これまで4,900袋の消石灰を使用。  
 仮埋葬時の遺体運搬の許可は県を通じて東北運輸局から必要無しとの回答。  
 ・医療支援チーム:9チームで医療支援対応中。ボランティアセンターでは、102人が登録し、96人が活動。  
 医師6名からなる医療支援チームが到着(東京23区からの支援)  
 ・冠水状況:大曲地区で、引き続きポンプ車により排水対応中。  
 ・その他:  
 鳴瀬給食センターが震災で使用不能となり、機働を矢本給食センターに移転。  
 矢本給食センターも修理が必要のため、現在対応中。  
 4月2日13時 総務副大臣が市役所来庁予定。  
 空き巣が散見され、自転車泥棒も多い。消防団の見回り強化等で対応中



○ 石巻市連絡員

石巻災害対策本部会議の概要（平成23年4月1日 20時～20時30分）  
 ・福祉部：仮設住宅申し込み状況 今日217件、昨日501件 これまでの計5,115件  
 ・建設部：  
 仮設住宅 1次137戸着工済  
 2次 大橋地区100戸、万石浦地区100戸を1ヶ月程度で完成予定。  
 3次 河北、北上、雄勝でも建設するためと協議。  
 下水道処理状況  
 東部石巻…くみ上げポンプ破綻。1次放流実施。  
 西部石巻…使用可能  
 河南、桃生、飯野川…被災なし  
 中道…地区全体が被災し復旧の見込みなし  
 電気状況：北上、停電中。発電機で運転  
 雄勝、停電中。運転不可  
 ・自衛隊：行方不明者の創作。28遺体を収容。入浴・物資支援。  
 ・警察：行方不明者の捜索。大街道、門脇地区の信号280機中169機が復旧。運転免許証再交付事務開始。泉・古川・気仙沼運転免許センターで。  
 ・消防：沿岸部を中心に行方不明者の捜索。排水作業。  
 ・農林水産省：水産施設、漁業施設を鹿野農水大臣が視察  
 ・国土交通省：排水ポンプの稼働状況  
 ・宮城県：避難所から家に帰る人が増えてきたので、避難所の配食を18万食から14万食に。  
 ・電力：送電状況説明。  
 ・水道：大街道地区等に試験通水。  
 ・N T T：顧客の要請により個人宅の電話を補修。電柱修繕。  
 ・N P O：ボランティア550名。泥上げ、吹き出し。土日は100名単位で増える見込み。市民とN P O合同で、泥・ガレキ除去（ドロバスターズ）を実施する。  
 ※本部長：石巻の非難所数々で杉良太郎氏、伍代夏子氏による吹き出しが行われる。  
 その他：各避難所から、し尿処理の出来が相次いでいる。石巻地区のし尿処理場では限界があるので、県と協力して他地区にあるし尿処理場も使えるよう検討する。

【総務企画班から】

○お知らせ

・3月31日をもって、4名の方が退職し、4名の方が転出されました。  
 ・4月1日に、新規採用2名、転入者3名、再任用4名、非常勤職員2名の方が着任されました。

○ 緊急対応宿直計画(4月1日現在)

4月2日(土)日直 佐藤(勝)、庄子、日下、斎藤、松井  
 4月2日(土)～3日(日)宿直 佐藤(勝)、日下  
 4月3日(日)日直 藤原、八坂、小野寺、西城、菊池  
 4月3日(日)～4日(月)宿直 藤原、八坂  
 4月4日(月)宿直 岡、及川  
 4月5日(火)宿直 山口、田中  
 4月6日(水)宿直 村上、木立

【地域保健福祉部から】

【生活保護担当】

- 3月31日
  - ・生活保護世帯の記録に関するデータを収集しました。
  - ・医療券36通を発送しました。
- 4月1日
  - ・保健台帳の整備に着手しました。(62世帯)
  - ・各種報告書の提出期限が延期されました。

【成人・高齢班】

- ・管理栄養士が避難所食事栄養状況について、石巻市役所合支所で打ち合わせを行った。(保健師に同行)
- ・電話が通じないディサービス、訪問宅事業所、有料老人ホームの現地調査を行った。

【母子・障害班】

- ・認可保育所及び認可外保育所の被害状況調査を随時実施。  
 3月31日：石巻市  
 被害の状況：地震、津波時に保育所にいた児童・保育士は全員無事。しかし、家族の方に連れられて帰った児童8人が亡くなり、5人が行方不明となっています。また、職員1名(臨職・パートを含む)も、1人が亡くなり、3人が行方不明となっています。
- ・管内2市1町の認可保育所の被害状況は以下のとおりです。

	児 童		保 育 士 (臨職・パート含む)	
	死 亡	行方不明	死 亡	行方不明
石巻市	8	5	1	3
東松島市	8	3	0	0
女川町	0	6	0	0

・石巻市の各総合支所へ、保健師を派遣しています。

【疾病対策班】

- ・肺結核の疑いの3名に対して仙石病院を紹介

【環境衛生部から】

【獣疫畜事班】

- ・医薬機関及び薬局の被害状況調査を行いました。
- ・石巻市津波地区の畜犬パトロールを行いました。
- ・女川町の避難所に物資(ドッグフード等)を搬入しました。

【食品・衛生班】

- ・避難所食品衛生指導実施状況  
 3月29日：石巻市6ヶ所、旧河北町1ヶ所、旧橋生町1ヶ所を巡回  
 3月30日：石巻市内4ヶ所、旧雄勝町5ヶ所を巡回

東日本大震災関連現地情報

—東部保健福祉事務所通信 第7号—

平成23年4月6日  
 東部保健福祉事務所

○ 東部保健福祉事務所(石巻保健所)の連絡先

企 画 総 務 班	090-090-	(防災携帯電話)
	090-	( 同 上 )
地 域 保 健 福 祉 部	090-090-	(防災携帯電話)
	090-	( 同 上 )
環 境 衛 生 部	090-090-	(防災携帯電話)
	090-	( 同 上 )

※ 東部保健福祉事務所は、現在、石巻西高等学校に仮事務所を置かせていただいておりますが、学校への電話は教職員のみとなりますので、上記の携帯電話にかけていただきますようお願いいたします。

【各市町への職員の派遣状況】

(市町への派遣 第4クール平成23年4月2日～4月5日)

活動先	所属	業務	氏名	宿泊場所
1 石巻市	仙南保福	保健師	只野 里子	石巻西高校
	リハセン	保健活動支援	菊地 克雄	
	ねんりん	連絡員	小松 茂夫	
2 東松島市	中央児相	保健師	我妻 美幸	
	リハセン	保健活動支援	相澤 祐介	
	仙南保福	連絡員	木村 博	
3 女川町	仙南保福	保健師	相澤 敦子	女川町 総合体育館
	仙南保福	保健師	市川 知子	
	仙南保福	保健活動支援	阿部 恒太郎	
4 石巻市北上支所	仙南保福	連絡員	寺島 王美	石巻西高校
	北部保福	保健活動支援	高橋 淳	
5 支所状況把握・保健所体制	北部保福	保健師	加藤 ますみ	
	北部保福	保健活動支援	佐藤 泰志	

(派遣職員の本拠活動状況)

- ・3市町の保健活動状況の把握と情報提供、活動支援
  - ・情報連絡員は市町の災害対策本部会議に参加し、事務所に報告する。
- (西高内での活動状況)  
 石巻市の各総合支所等(河北、河南、桃生、牡鹿、雄勝、北上)に保健活動状況を把握するために訪問した。

【現地連絡員から】

○ 石巻市連絡員

- 4月2日
  - 健康推進課(16時現在)
    - ・災害形態金等：今後、災害形態金が5,000件、生活支援金が10,000件の申請見込みがある。短期に集中し、県職員の支援を要望する。
    - ・被災証明の発行が4月中旬よりはじめる。防災対策課が対応し、調査は税務職員が対応する見込みだが、県に応援派遣を要請する見込み。(福祉総務課)
    - ・廃棄物対策：がれきの2次置き場の対応を県廃棄物対策課に要請しているが、いまだ明確な話がない。早急に対応をお願いしたい。また、がれき処理のダンプ・人員についても県でだしてもらいたい。(環境課)
  - 対策本部会議(20時)
    - ・仮設住宅申込み 今日352件で計5,570件となった。
    - ・本部長から
      - ① 衛生状況の改善：市民ボランティアの方が汚泥の処分に従事しており300名体制で実施する。消毒のために消石灰181×30缶を用意して対応することとしている。門脇地区は業者委託で対応。汚泥撤去後に洗浄と消毒のために噴霧器を県の災害対策本部に要望。
      - 衛生関係では、保健所と日赤がチームを組んで指導を行っている旨の話があった。
      - ② がれきの撤去：市民感情の問題からのがれきの撤去を進めることが必要。市としては、市をエリアにわけて、旧市内の撤去は市で実施するもの、総合支所の部分は県に撤去してもらいたい意向。
- 4月3日
  - 健康推進課ミーティング
    - ・避難所の環境劣悪(要介護者の移動、トイレの改善、乳児入浴、栄養面の配慮等)
    - ・義援金の配分を担当課に照会中
    - ・二次避難(町内会単位で2～3日のお試しで)
    - ・消毒：消石灰散布器を追加発注。
  - 情報(21時30分)
    - ・り災状況調査、り災証明に関する職員応援を市人事課から県人事課に要請
    - ・ボランティア(泥の搬出、吹き出し、リラクゼーション)
    - ・一般ゴミ週1回で収集進まず。震災ゴミ片付けず(市長)
  - 4月4日
    - 健康推進課ミーティング
      - ・避難所巡回(東海大同会会救援物資)、南科教課室開設(市役所3階)
      - ・気温の上昇により避難所環境悪化。健康管理の徹底。
    - 情報(16時)
      - ・ホームページによる情報発信開始。
      - ・松本防災大臣と市長の会談(がれきの撤去、仮設住宅)
  - 4月5日
    - 対策本部会議
      - ・応急仮設住宅申込み：4月5日分257件、累計6,840件。(福祉部)
      - ・災害廃棄物置き場への廃棄物搬入は、今後生活環境部が所管(建設部)
      - ・安置所から仮理葬所への遺体搬送は、昨日から自衛隊から地元葬儀社に依頼(生活環境部)

- ・ボランティア活動：4月5日は1,100人、炊き出し11,800食。4/10に「まちなかスマイルプロジェクト」と路打ち泥の撤去・清掃を一齐実施予定（協会）

○ 東松島市連絡員

■ 4月2日

- 対策本部会議
  - ・仮埋葬：12体、累計275体。遺体：14体、累計825体
  - ・給食：88施設、約26000食
  - ・医療支援：9チーム
  - ・ボランティア：91人。延べ102人活動
  - ・仮設住宅受付：4/4～（避難所へのPRは4/3～）
  - ・避難所受取85箇所8,928人

■ 4月3日

- 対策本部会議
  - ・明日からり災証明発行（熊本県から応援）
  - ・仮埋葬：36体、累計311体。遺体：14体、累計839体
  - ・給食：25,500食
  - ・医療支援：9チーム
  - ・ボランティア：131人。延べ144人活動
  - ・仮設住宅建設場所：小野・野蒜250、響田地170、宮戸150、矢本大曲650、赤井50、大塩860、その他95

■ 4月4日

- 対策本部会議
  - ・り災証明990件、被災証明767件（17:30現在）
  - ・仮埋葬：4体、累計315体。遺体：9体、累計848体
  - ・給食：25,000食
  - ・医療支援：9チーム
  - ・ボランティア92人。延べ105人活動
  - ・防火水槽上にゴミ（19箇所）

○ 女川町連絡員

■ 4月3日

- 本部会議（9時）
  - ・20避難所2,033人。遺体収容348体（3/27時）
  - ・土足厳禁でアレルギー改善（避難所班）
  - ・移動入浴：4/2～開始。福祉避難所：26人。介護入浴：4/3実施（保健班）
  - ・外来237人のうち新患70人。町立病院4/2通電（医療班）
  - ・和式トイレに乗せて洋式になるもの5台以上を県に要望（→長寿社会政策課対応）
  - ・高齢者・子供への配慮不足、ガソリン・車不足、日本財団の布施金基準等への不満、敷設経費の公費負担、避難者の人材活用（町長）

■ 4月4日

- 本部会議（9時）
  - ・19避難所1,997人。遺体収容354体（3/31時）
  - ・総合体育館で夜間に急患5人発生（避難所班）
  - ・移動入浴：総合体育館と福祉避難所で実施。乳幼児調査の実施：総合体育館で保育士4人。今後各避難所を巡回（保健班）
  - ・水が来ない避難所のトイレの汚れがひどい。インフルエンザは未発生。福祉避難所の一般避難者を別な場所に移したい。（医療班）

- ・行政の通常の業務体制について、5月ころから県職員等の応援を得て行いたい。

- 本部会議（16時）
  - ・福祉避難所での入浴、第二小での出前保育（保健班）
  - ・町立病院の外来は、4/3 136人、4/4 347人（うち新患89人）（医療班）

■ 4月5日

- 本部会議（午前）
  - ・総合体育館で巡回診療、福祉避難所で介護入浴8人実施（保健班）
  - ・町立病院の診療時間は、予約なしで可。4/9～平日午前午後、土曜午前実施（医療班）
- 本部会議（午後）
  - ・巡回診療、移動入浴の実施。勤労少年センター・女川高校で保育所活動開始（保健班）
  - ・町立病院外来 4/5 244人（うち新患49人）

【企画総務班から】

- ・医療従事者免許臨時窓口の開設
  - 東松島市役所 矢本保健相談センター
    - 4/7（木）～4/8（金） 10時～12時
  - 石巻市役所 健康推進係窓口
    - 4/11（月）～4/13（水） 10時～12時

【地域保健福祉部から】

【成人・高齢班】 4/5

- ・介護保険担当者とP、Tが石巻市の介護保険担当課を訪問し避難所における高齢者要介護者の調査状況について打ち合わせ。
- ・高齢者（老人クラブ）関係者補助金などについて平成21年度額の確定、平成22年度概算払い通知を石巻市に内容説明の上、届ける。
- ・管内の居住介護支援事務所の状況について電話で確認。（継続）
- ・午前北部保健福祉事務所の管理栄養士が来所し避難所の栄養調整等について打ち合わせを行い、午後石巻市を訪問し打ち合わせ。

【東部保健福祉事務所発プロジェクト】

- 当事務所では各市町のニーズを踏まえ、地元市町と協力しながら、さまざまなプロジェクトに取り組んでいます。

【避難所におけるトイレ衛生化計画】

石巻市における各避難所の屋内トイレの衛生状態を改善することで、避難所全体の衛生状態を改善しようとするものです。感染症、食中毒等が発生すると避難所内、避難所周辺地域で一気に発症者が拡大するおそれがあることから、直ちに対策に着手する必要があります。

また、避難期間が長期化することが予測されているため、トイレを清潔に保つこと等により高齢者が多い避難住民の健康管理・生活環境全般の質の向上を図るものです。

○実施方法

- ・避難所屋内トイレ、屋外仮設トイレを衛生的に管理することによる感染症、食中毒等の発症を予防する。
- ・トイレを衛生的に利用する方法の周知
- ・高齢者に対する配慮（簡易トイレの普及促進）

○実施経過

- ・3月28日 石巻市、石巻保健所、石巻環境保全事業共同組合、自衛隊、避難所運営者、ボランティアの合同チームによる打ち合わせ
- ・3月30日以降の実績
  - 渡波公民館(3/30)、渡波小学校(3/31)、鹿妻小学校(4/2)、福井小学校(4/2)、法山寺幼稚園(4/4)。

以後順次、各避難所を巡回して実施していきます。

【避難所居住区域クレンジングプロジェクト】

石巻市における避難所の衛生環境確保のため、市・県・ボランティアが協力して、避難所の一斉清掃を行うことになりました。

実施対象は、石巻市指定避難所で、避難者数100名以上の避難所33か所で行います。実施日は、当初、平成23年4月9日（土）を予定していましたが、4月7日（木）の余震のため1週間延期して4月16日（土）に実施します。各避難所では、9時30分から清掃開始を開始します。

今後の避難所の自主的な衛生確保を目指し、避難所責任者や避難者を実施主体として、市、県職員、ボランティアが避難所（居住スペース、トイレ）の清掃方法の指導及び指導後の確認を行います。

東日本大震災関連現地情報

—東部保健福祉事務所通信 第8号—

平成23年4月22日  
東部保健福祉事務所

- 東部保健福祉事務所（石巻保健所）は、4月18日（月）から石巻合同庁舎仮事務所に移転しました。

名称：宮城県石巻合同庁舎仮事務所  
所在地：石巻市南境新水戸1番地 石巻専修大学内  
代表電話番号：0225-95-1411  
内線電話はこれまでと同じです。  
期間：平成23年4月18日（月）から9月30日（金）までの予定です。

【各市町への職員の派遣状況】

（市町への派遣 第4クール平成23年4月5日～4月8日）

活動先	所属	業務	氏名	備考
1 石巻市	東部保福	保健活動	船谷 祐子	
	疾病・感染症対策室	保健活動	後藤 百合子	
2 女川町	仙台保福	保健活動	高橋 厚子	
	仙台保福	保健活動	大泉 聖子	
	仙台保福	保健活動支援	主簿 孝幸	
	仙台保福	連絡員	高内 淳	
3 市内対応	仙南保福	保健活動	早坂 美恵	
	中央児相	保健活動支援	矢代 紀章	
	仙南保福	保健活動	菅原 美帆子	
	仙南保福	保健活動支援	佐々木 健人	

（市町への派遣 第5クール平成23年4月8日～4月11日）

活動先	所属	業務	氏名	備考
1 石巻市	東部保福	保健活動	小川 美穂	
	仙台保福	保健活動	菊田 久弓	
	仙台保福	連絡員	木村 博	
2 女川町	仙南保福	保健活動	松田 祐子	
	仙南保福	保健活動	鶴若 美恵	
	仙南保福	保健活動支援	佐藤 祐介	
	北部保福	連絡員	高橋 陽子	
3 支所状況把握	リハセン	保健活動	千葉 敦子	
	仙南保福	保健活動支援	大谷 信	
4 市内対応	北部保福	保健活動	坂本 由都	
	中央児相	保健活動支援	阿部 哲幸	



(市町への派遣 第6クール平成23年4月11日～4月15日)

活動先	所属	業務	氏名	備考
1 石巻市	東部保福	保健活動	小川 美穂	
	北部保福	保健活動	三澤 美香	
	北部保福	保健活動支援兼連絡員	木村 亮	
2 女川町	東部保福	保健活動	宮川 綾子	
	仙台保福	保健活動	小原 由美子	
	仙台保福	保健活動支援兼連絡員	岡田 光悦	
3 支所状況把握	東部保福	保健活動	村上 めぐみ	
	疾病・感染症対策室	保健活動	中嶋 亜希子	
	中央兎相	保健活動支援	瀬野 徹	

(市町への派遣 第7クール平成23年4月15日～4月19日)

活動先	所属	職種	氏名	備考
1 石巻市	東部保福	保健活動	小川 美穂	
	仙南保福	保健活動	只野 照子	
	#	保健活動支援	高橋 克昌	
2 女川町	東部保福	保健活動	宮川 綾子	
	北部保福	保健活動	狩野 クラ子	
	仙南保福	保健活動支援兼連絡員	三浦 有紀	
3 石巻市総合支所	東部保福	保健活動	藤又 正光	
	仙台保福	保健活動	村上 めぐみ	
	#	保健活動支援	千葉 さとみ	
4 所内	中央兎相	保育活動	中村 栄子	
	北部保福	保健活動支援	照井 優一	

(市町への派遣 第8クール平成23年4月19日～4月23日)

活動先	所属	職種	氏名	備考
1 石巻市	東部保福	保健活動	小川 美穂	
	仙南保福	保健活動	松田 祐子	
	仙台保福	保健活動支援	遠藤 柗也	
2 女川町	東部保福	保健活動	宮川 綾子	
	仙南保福	保健活動	鶴若 美亜	
	仙台保福	保健活動	徳若 美之	
3 石巻市総合支所	東部保福	保健活動	小川 綾平	
	北部保福	保健活動支援兼連絡員	村上 めぐみ	
	仙南保福	保健活動支援兼連絡員	赤井澤 光博	

- (派遣職員の主な活動状況)
- ・ 3市町の保健活動状況の把握と情報提供、活動支援
  - ・ 市町の災害対策本部会議への参加、事務所への報告
- (西高内での活動状況)
- 石巻市の各総合支所等(河北、河南、桃生、牡鹿、雄勝、北上)での保健活動状況の把握

【4月20日までの主な活動実績】

【企画総務班から】

- 震災対応
- 医療従事者免許臨時窓口の開設
  - ・ 東松島市役所 矢本保健相談センター (4/7～4/8 10時～12時)
  - ・ 石巻市役所 健康推進課窓口 (4/11～4/13 10時～12時)
- 医療機関の被害状況調査の実施
  - ・ 20カ所/全146カ所

【地域保健福祉部から】

- 【生活保護担当】
- 【通常業務】
- 保護費4月支給(窓口払い)のための各種作業
- 女川町仮庁舎、避難所及び自宅(罹災していない者)で生活保護費支給
- 5月支給に向けた保護費変更入力作業

【成人・高齢班】

- 【震災対応】
- 1 介護保険関係
- 管内介護保険施設等訪問調査〔特養、老健、軽費、養護〕(4/13～15 19施設)
- 定員超過受入の状況やそれに伴う従業者の勤務体制、その他課題を調査
- 電話により管内の居宅介護保険事業所の活動状況を調査(4/13～15)
- 居宅介護支援事業所のうち、利用者の状況を確認できた事業所数44箇所中、震災・津波による死亡者が5名以上の所、27箇所
- 市町との打合せ：石巻市介護保険課(4/14)、女川町(第1回4/13、第2回4/20)

2 栄養改善グループ

- 避難所の食事状況等調査(3/29～4/12)
- 県健康推進課、大崎・奥原保健所、県栄養士会等の協力を得て、市町とともに管内の避難所を巡回し、食事状況、栄養関連ニーズを調査
- 被災者への食事提供
  - ・ 調査を受けて、石巻市では22日から20、000食の弁当を夕食として提供する計画(女川町は、検閲中、東松島市は、3月27日より実施済)

3 リハビリテーショングループ

- 避難所調査(4/9～10)
- 県理学療法士会、作業療法士会の協力を得て、DVD検査治療ゲーム、健康運動士チームと合同で避難所のエコマニークラス鑑賞群ハイリスク者の抽出と運動指導を実施
- リハ支援センターから職員1名の派遣を受ける予定(4/25～)
- 相談等への対応
  - ・ エコミー対策等について、理学療法士会、作業療法士会の協力を得て対応
- 避難所の各種指導
  - ・ 避難所の住環境整備、動作指導、福祉用具等について、理学療法士会、作業療法士会の協力を得て対応(東松島市、石巻市)

4 口腔ケア・歯科医療救護活動

- 歯科医療救護活動の状況調査
- 石巻歯科医師会等関係団体の活動調整
- 避難所の口腔ケア、不足物資(義歯洗浄剤、洗口液等)の調査

【母子・障害班】

- 【震災対応】
- 認可保育所の被害状況の確認
  - ・ 東松島市(4/8)、女川町(4/8)、石巻市(4/11、4/18)登米市(4/12)
- 認可外保育所の被害状況の確認(10カ所 4/4～20)
- 心のケア対策
  - ・ 管内市町の心のケア対策の状況・課題について各市町と打合せを実施し、今後の支援のあり方を検討
  - ・ 身体科医医療救護チームとの連携や情報共有のために、毎週1回心のケアチームのミーティングに参加
  - ・ 「災害後の保健活動とこころのケア」に関する研修会(4/14)に参加

【震災・通常業務】

- 母子・寡婦福祉資金の窓口相談受付(4/20まで延べ14件(うち、重複相談3件))
- 生活資金相談5件、住宅資金相談2件、車購入資金2件、就学支度資金相談2件、事業継続資金2件、転宅資金1件

【疾病対策班】

- 【震災対応】
- 感染症予防啓発(被災地における感染症についてなど)
- 避難所における感染症発生事例報告

【通常業務】

- 結核患者への服薬支援
- 特定疾患・肝炎治療特別促進事業等の手続
- 結核診査部会の運営

【環境衛生部から】

- 【食品衛生班】
- 【震災対応】
- 避難所に係る食品衛生指導の実施
  - ・ 石巻市37カ所(田市内 8、雄勝支所 7、北上支所 11、牡鹿支所 11)
- 【通常業務】
- 食品衛生法に係る相談・指導・許可
  - ・ 震災に伴う飲食店の廃業多数

【獣疫業務班】

- 【震災対応】
- 所有者不明の毒物・劇物の調査・確認の実施(連携対応：廃棄物対策班、石巻市環境課)
  - ・ 6件
- 薬局及び医療機関の被害状況調査の実施
  - ・ 23カ所/全96カ所
- 死亡獣畜の埋却地現地調査
  - ・ 5カ所～現状では主に化製場搬入で対応中(現在の処理状況：豚 0匹/約600匹、牛 120頭/240頭 4.8現在)
- 避難所における大猫飼育状況調査の実施
  - ・ 75カ所
- 苦情対応パトロール

【通常業務】

- 各種届出等の申請相談・指導(通常業務?)
- ・ 麻薬に係る廃棄、事故(紛失)等届け

【環境対策班】

- 【震災対応】
- 水質汚濁防止法等に係る特定施設被害状況調査(独自調査)
  - ・ 被災した特定事業場からの化学物質・廃液等の流出による周辺への影響の有無等の確認調査
  - ・ 危険性や影響が大きいと判断される石巻市内沿岸部の10箇所を実施したが、緊急対応の必要なものはなかった。
- 苦情・通報等に係る対応調査
  - ・ 冷凍庫からのアンモニア漏洩対応、重油漏洩に関する現地調査
- 環境中のアスベスト測定・調査(環境省調査立会)
  - ・ 環境省によるアスベスト測定調査に保健環境センター・大気環境部と共に調査立会(4/15)を行ったもの。測定箇所は東松島市街地及び石巻市街地の2カ所。
- 各市町との情報連絡等
  - ・ 各市町の環境課や町民課との情報交換及び連絡調整(1回/週)。

【廃棄物対策班】

- 災害ゴミに係る仮置き場の監視・指導の実施
  - ・ 石巻市3カ所(南境、工業港、雄勝)
  - ・ 東松島市(大曲)
  - ・ 女川町(魚市場)
- 喫煙不法投棄に係る調査指導の実施
  - ・ 3件
- 津波被害に関するPCB含有コンデンサ等の確認・調査の実施
  - ・ 漂着 1件
  - ・ 流出 1件
  - ・ 確認事業所 10事業者/全200事業者

【通常業務】

- 廃棄物処理関係相談・指導・許可

【その他】

- 石巻地区での避難所等の保健医療福祉活動にかかる意見交換会(4/7)
- 保健福祉部佐々木技術次長が管内各市町、医師会を訪問し意見交換
- 第2回災害対策本部東部地方支部会議(4/11)
- 石巻市長と地方振興事務局長及び保健事務局長との面談(4/21)

【東部保健福祉事務所発プロジェクト】

- 当事務所では各市町のニーズを踏まえ、地元市町と協力しながら、さまざまなプロジェクトに取り組みます。

【避難所清掃キャンペーンの実施】

- 目的
  - ・ 避難所の清掃を行い土足禁止の啓発及び衛生的な居住環境を確保する。
- 実施内容
  - ・ 避難所の清掃を呼びかけ、避難者が自ら清掃することを促すとともに、清掃方法を周知する。
- 対象
  - ・ 石巻市内全避難所（141箇所（45現在）総合支所管轄避難所を含む）
- 実施期間
  - ・ 平成23年4月16日～全避難所完了まで
- 実施経過
  - ・ 初日（4月16日）に、石巻市、石巻保健所、ボランティアを含め総勢80人以上で、19箇所の避難所を実施。
  - ・ 土足禁止、トイレを含めた清掃習慣についての周知を行ったことにより、衛生環境が改善された。
- 今後の対応
  - ・ ボランティアを中心として、今後、各避難所を、順次、実施していく予定。

【保健活動班の活動】

- 東部保健福祉事務所では、保健福祉部各課所の保健師や事務職員の応援を得ながら、管内市町に対する震災への緊急対応の支援を中心に行ってきた。震災で失われた地域社会のシステムはあまりにも大きいものであるが、震災後1か月を経過し、緊急避難から生活再建の段階に移行しつつあり、震災後の石巻地域の保健福祉医療システムの再構築を早急に進めていく必要がある。他県の公衆衛生医師の応援も得ながら、市町の中長期的ビジョンづくりを支援していく。

（これまでの主な活動）

- ・ 石巻市赤病院医療チームとの調整支援
- ・ 心のケアチームの調整支援
- ・ 福祉避難所設置に向けた調整支援
- ・ 二次避難に向けた調整支援
- ・ 市や総合支所、町の現状把握、巡回活動支援
- ・ 県外応援チームの調整支援、課題の整理

（今後の主な活動）

- ・ 市町が行う中長期的なビジョンづくりの基礎作業

※中長期的なビジョン：避難所の現状や全戸調査の結果を分析し、避難所の解消や通常業務の再開までの課題を整理し、地域の保健福祉医療システムの再構築に向けたおおまかな実施内容を時期を示すもの。

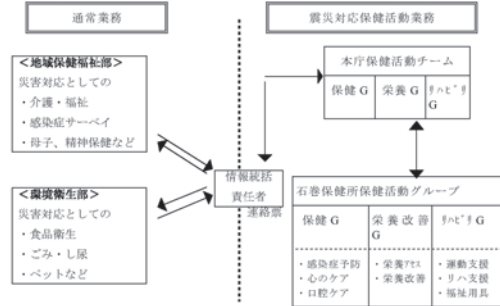
東日本大震災関連現地情報  
—東部保健福祉事務所通信 第9号—

平成23年5月23日  
東部保健福祉事務所

【各市町への保健活動支援体制】

東部保健福祉事務所では、保健福祉部各課所及び県外の保健師や事務職員の応援を得ながら、管内市町に対する震災への対応の支援を行ってきたところであるが、東日本大震災の被害は非常に大きく、未だ数多くの避難所への支援が必要な状況となっている。震災後2か月以上を経過し、東部保健福祉事務所としては、これまでの緊急対応としての保健活動支援から、栄養・リハビリ等も含めたトータル的な保健活動支援へと組織体制の整備を図り、継続して被災市町への支援を行っている。

保健活動支援体制



＜保健グループ活動報告＞（※お問い合わせ421～520）

1 応援職員等の状況

（1）他県からの応援職員の状況

所属	職種	氏名	備考
1 大分県	東部保健所長（医師）	大神 貴史	4月23日～4月30日
	東部保健所主幹	美登 裕二郎	#
2 石川県	参事（医師）	三宅 邦明	5月16日～5月23日
3 東京都	多摩小平保健所長（医師）	早川 和男	5月7日～5月14日
	多摩府中保健所（医師）	吉見 逸郎	5月9日～5月15日
	南多摩保健所長（医師）	赤穂 保	5月14日～5月21日
	感染症対策課課務担当係長（医師）	戸来 小太郎	5月16日～5月23日
4 山形県	障がい福祉課障がい福祉支援主査	片桐 秀一	5月2日～5月6日
	子育て支援課主事	阪根 健介	#
	管理課企画主査	香澤 宗一	#
	農村整備課主査	山口 正人	5月9日～5月13日
	保健業務課感染症予防主査	中村 裕行	#
	こども家庭課児童擁護主査	遠藤 信博	5月16日～5月20日

（2）県内の応援職員等の状況

平成23年5月1日より、保健師3名が当所業務職員となり、保健活動支援体制の充実が図られた。

- 仙南保健から業務発令 只野恵子技術主幹
- 健康推進課から業務発令 八巻直恵主任主査
- 北部保健から業務発令 三澤美香技術主査

2 主な業務概要

- ① 管内市町における災害保健活動への企画調整支援  
避難所、在宅への災害保健活動への企画調整支援
- ② 管内市町の通常の公衆衛生体制の再構築への支援

3 各市町の状況

1) 石巻市（旧市内）

＜避難所＞ 67か所 避難住民数 約5,019人（5月第一週現在）

＜保健関係の主な動き＞

- ・ 医療救護班による避難所要介護者アセスメント実施
- ・ 全戸訪問実施
- ・ 福祉避難所「桃生トレーニングセンター」開始
- ・ 心のケアチームとの打ち合わせ（5/6） 当所担当保健師が参加
- ・ 乳幼児健診再開に向けての打ち合わせ（5/10）
- ・ 二次避難に向けての医療情報収集

2) 石巻市（各総合支所）

＜避難所＞ 42か所 避難住民数 約3,439人（5月第一週現在）

＜保健関係の主な動き＞

- 北上総合支所
  - ・ 橋浦総合診療所 医療チーム対応で再開予定。
  - ・ 全戸訪問開始
- 雄勝総合支所
  - ・ 診療所の開設に向けて検討
  - ・ 東北大学公衆衛生研究グループの支援調整中
  - ・ 河北地区にいる避難者の支援体制について検討
  - ・ 乳幼児健診実施に向けて検討
- 河北総合支所
  - ・ 診療所再開に伴い、医療チーム巡回を検討
- 杜鹿総合支所
  - ・ 全戸調査実施済
  - ・ 保健福祉センターが避難所になっているため、検診の実施が困難。検診中
  - ・ 被災者への啓発活動や口腔ケア（4/19～21 10避難所訪問指導）

3) 奥松島市

＜避難所＞ 40か所 避難住民数 約2,186人（5月第一週現在）

＜保健関係の主な動き＞

- 保健師による全戸訪問による「健康支援調査」を実施
  - ・ 被災後の住民の健康状態把握。
  - ・ 住民の生活状況等データベース作成。問題点の掘り起こし
- ・ 石巻保健所より保健師3人応援派遣（5/9～13）
- ・ 被災者への啓発活動や口腔ケア（5/16 5避難所訪問指導）

4) 女川町

＜避難所＞ 13か所 避難住民数 約1,743名（5月第一週現在）

＜保健関係の主な動き＞

- ・ 「女川町保健福祉短期復興計画」策定中 当所保健師も策定会議に参加
- ・ 心のケア関係会議 5月5日（木）石巻保健所長、担当保健師出席
- ・ 避難所閉鎖、二次避難等が進んでいる。
- ・ 町立病院再開（5/1～）
- ・ 乳幼児健診（5/22～24 一斉健診実施予定）
- ・ 石川町保健師による在宅訪問実施
- ・ 鹿島島津チーム ころのケア実施
- ・ 生活不活病スクリーニング実施
- ・ 被災者への啓発活動や口腔ケア（4/22～27 14避難所訪問指導）

＜栄養改善グループ活動報告＞

1 応援職員等の状況

○ 大崎保健所から業務発令 山家枝里子技師（5/16～）

2 主な業務概要

- 避難所における食事状況・栄養関連ニーズアセスメント調査の実施  
石巻市：4/27～5/22 92箇所  
東松島市：5/17～20 35箇所  
女川町：5/16～19 15箇所

3 各市町の状況

\* 各市町共通：炊き出し用の米に強化米使用

- 1) 石巻市  
 ○食事：夕食に弁当提供開始（対象：炊き出し未実施の避難所 4/22～）  
 ・朝食、昼食用配給食品を改善（4/25～）  
 ・食料ジャーゼン、さんま缶、牛乳、野菜ジュースなど提供計画的に提供開始  
 ・自衛隊の炊き出し実施避難所（10箇所）で昼・夕食を栄養士の献立により調理・提供開始（4/26～）  
 ○避難所：個別栄養相談の実施、避難所巡回指導

- 2) 東松島市  
 ○避難所：各避難所に冷蔵庫を順次設置

- 3) 女川町  
 ○食事：昼食に弁当提供開始（5/9～）  
 ○避難所及び在宅：個別栄養相談の実施、各避難所に冷蔵庫設置

**＜リハビリテーショングループ活動報告＞**

**1 応援職員等の状況**

- 北部保健福祉事務所から職員1名（川村謙吉技術主査）の派遣受け入れ（5/9～13）  
 ○リハビリテーション支援センターから業務兼 栗津正貴技師（5/16～）

**2 主な業務概要**

- リハビリテーション関連団体の活動調整・情報共有  
 石巻圏域で活動しているリハビリ関連団体（宮城県理学療法士会、宮城県作業療法士会、プライマリケア学会、徳島県理学療法士会）  
 遊楽館で情報共有及び課題検討のためのミーティング実施（5/1、5/15）

**3 各市町の状況**

1) 石巻市

- 衛生農業者トレーニングセンター避難所  
 介護が必要な入所者に対し、バリアフリー環境と入所者それぞれに適合した福祉用具や動線を提供。介護量の軽減や入所者の機能低下を防止、仮設住宅等への移行をスムーズにするため、リハビリ専門職等のスタッフが常駐  
 リハ及び看護関係スタッフの活動の調整、環境整備の助言、福祉用具物資の適合支援を実施  
 リハビリテーション関連10団体が5月6日より医師1名、リハ専門職2名、看護師2名を派遣。6月末までは、9日間を1クルーとして継続して対応。また、宮城県理学・作業療法士会が常時1～2名を配置  
 ベッド、歩行補助具、入浴補助具等の環境整備の物資の設置、適合および調整をボランティアと協力して実施

- 避難所及び在宅等の相談対応  
 石巻市本庁及び総合支所の保健師、石巻市立病院リハビリテーション科スタッフ、石巻赤十字病院リハビリテーション科スタッフからの依頼に対応。

2) 東松島市

- 避難所及び在宅等の相談対応  
 市の保健師からの相談依頼に対応。宮城県作業療法士会、宮城県介護研修センターと連携して対応

3) 女川町

- 女川町立病院のリハスタッフとの定期的な情報交換。福祉用具等の物資の調整

**【その他各市町等への活動支援】**

業務名	期間	活動場所	派遣者
被災市町村応援業務 （人事課派遣）	5月18日～5月21日	石巻市北上支所	中川勝次次長
災害ボランティア業務	4月29日～5月2日 5月2日～5月5日 5月5日～5月8日	石巻市ボランティアセンター	遠藤高志主事 齋藤香織技査 穴戸文彦技師
介護保険業務	4月25日～4月28日 5月9日～5月10日	石巻市介護保険課	八瀬政信主幹
民間住宅借り上げ窓口業務（災害救助）	5月20日～5月24日 5月24日～5月27日 5月27日～5月31日	石巻市福祉総務課	遠藤正寿班長 藤塚慶宗主査 遠藤正寿班長

**【5月20日までの主な活動実績】**

（※業務はおおむね421以降のもの、データはおおむね41以降の累計）

**【企画総務班から】**

- 【震災対応】  
 ○地域医療会議の開催（5/13）  
 ・管内の三師会、病院、市町関係者との情報交換

**【地域保健福祉部から】**

- 【生活保護担当】  
 【震災対応】  
 ○女川町に面接相談員1人を配置（5/2～週4日：月、火、木、金）

【通常業務】

- 通常業務再開に向けた、ケース記録の復元作業に着手（4/18～）  
 ○女川町飯庁舎で窓口払いの実施、被保護世帯からの相談対応（5/2）

【成人・高齢班】

- 【震災対応】  
 ○管内介護保険施設調査指導 2件（5/6、5/18）  
 ・被災した施設の再開等  
 ○管内介護保険施設入所状況調査（5/19現在）集計中  
 ○介護保険事業所指定 2件（5/15 訪問介護、居宅介護支援）  
 ○応急仮設住宅への高齢者等サポート拠点の設置打合せ（石巻市役所 5/13、5/18）  
 ○介護福祉に関する関係者会議（石巻赤十字病院 5/7、5/12、5/20）  
 ○介護保険施設入所の調整支援  
 ・石巻市介護保険課に当所職員1名を派遣（4/25～28、5/9～10）

【母子・障害班】

- 【震災対応】  
 ○心のケア対策  
 ・管内市町の心のケア対策の状況・課題について各市町と打合せを実施し、今後の支援のあり方を検討  
 ・身体科医療相談チームとの連携や情報共有のために、毎週1回心のケアチームのミーティングに参加  
 ・個別相談ケースの対応（電話相談、面接相談、家庭訪問、ケース検討会）

【震災・通常業務】

- 母子・寡婦福祉資金の窓口相談受付（5/20まで延べ24件（うち、重複相談5件））  
 ・生活資金相談10件、住宅資金相談2件、車購入資金2件、就学支度資金相談2件、事業継続資金2件、転宅資金2件、支払猶予申請2件  
 ○母子・寡婦福祉資金の電話相談受付（5/20まで延べ34件）

【疾病対策班】

- 【震災対応】  
 ○感染症予防啓発（チラシ作成、市町への提供等）  
 例：被災地における感染症について、がれき撤去作業で生じる粉じんについて  
 ○避難所における感染症発生事例報告  
 ○避難所サーベイランス実施に向けた各避難所への巡回説明（5/18～24）

【通常業務】

- 結核患者への服薬支援  
 ○特定疾患・肝炎治療特別促進事業等の手続

- 結核診査部会の運営

**【環境衛生部から】**

- 【食品衛生班】  
 【震災対応】  
 ○避難所に係る食品衛生指導の実施  
 ・石巻市：延べ92か所、東松島市：1か所、女川町：延べ16か所（4～5月）  
 ○避難所への弁当提供施設衛生指導  
 ・石巻市4か所、東松島市3か所、女川町8か所（4～5月）  
 ○物資供給拠点の衛生指導  
 ・石巻市3か所、東松島市2か所（4～5月）  
 ○食品営業施設被災状況調査継続中

【通常業務】

- 食品衛生法に係る相談・指導・許可  
 ・震災に伴う廃棄物の届出が多数見受けられるが、新規で許可を取得する営業業者も増加  
 ○生食用食肉取扱施設の緊急調査、監視指導  
 ・ユッケによる集団食中毒の発生を受け、宮城県でも取扱状況を調査。石巻管内では372施設の営業許可施設に生食用食肉の提供に関するアンケート調査を実施。取扱有と回答のあった6施設へは立ち入り調査・指導を実施

【獣医畜事班】

- 【震災対応】  
 ○所有者不明の毒物・劇物の調査・確認の実施（連携対応：廃棄物対策班、石巻市環境課）  
 ・9件（4～5月）  
 ○死亡獣畜の処理状況  
 ・現状では主に化製場搬入で対応中（現在の処理状況：豚 339匹／約700匹、牛 270頭／400頭 5/13現在）  
 ○避難所における犬猫飼育状況調査の実施  
 ・95か所（4～5月）  
 ○仮設住宅の簡易給水施設設立  
 ・12施設（5月）

【通常業務】

- 薬事法及び麻向法等による申請・届出相談  
 ・麻薬等事故届 13件、廃棄届 8件受付。廃棄立会 3件（4～5月）  
 ○苦情等による畜犬パトロール

【環境対策班】

- 【震災対応】  
 ○水質汚濁防止法等特定施設被害状況調査（独自調査）  
 ・被災した特定事業場からの化学物質・廃液等の流出による周辺への影響の有無等の確認調査  
 ・危険性や影響が大きいと判断される石巻市内沿岸部の延べ20か所を実施したが、緊急対応の必要なものはない  
 ○苦情・通報に係る対応調査  
 ・重油漏洩に関する現地継続調査  
 ○国立環境研究所調査立会  
 ・避難所内及びその周辺の粉じん等の測定・調査に立会・支援（5/13 対象箇所：渡波小学校避難所）  
 ○被災したリサイクル事業者等への支援活動  
 ・県産業総合技術センター・石巻高等技術専門校が被災中小企業支援活動の一環とし

て、汚泥洗浄用の高圧洗浄機の貸出しを行っていることから、3R推進事業に関連したリサイクル事業者等へ周知し、貸出しのマッチングを実施（延べ4件）。

#### 【廃棄物対策班】

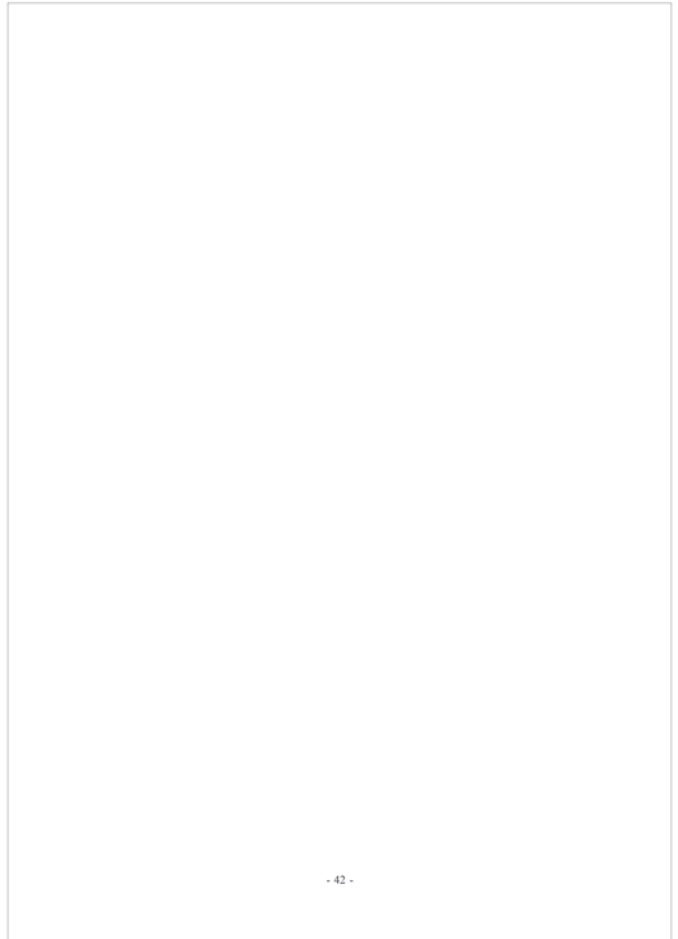
- 災害ゴミに係る仮置き場の監視（4～5月）
  - ・石巻市9か所（南境、工業港、雄勝、北上、河北、河南、不動沢、御所入、牡鹿）
  - ・東松島市（大曲浜）
  - ・女川町5か所（清水町、石浜字崎山、高森、小東浜、女川浜伊勢）
- 廃棄物害情に係る調査指導の実施
- 津波被害に関するPCB含有コンデンサー等の確認・調査の実施
  - ・確認事業所 45事業者/全200事業者（5/18現在）

#### 【通常業務】

- 廃棄物処理法関係相談・指導・許可
- 野焼き行為に対する指導

#### 【その他の動き】

- 第3回災害対策本部東部地方支部会議（4/27）
- 山形県人事課長女川町訪問（5/10）



### 県災害対策会議東部地方支部会議資料

## 東日本大震災関連現地情報

平成23年 3月22日  
東部保健福祉事務所

#### 【職員活動状況】

平成23年3月11日(金)午後2時46分

#### 【現地連絡員からの報告状況】

石巻市

3月 日 12:40 (突戸)

- ①民生委員の補助事務等
- ②ねんりんピックを予定通り行うのか。
- ③県の具体的な支援内容
- ④支援人員の補充

3月20日

死者:647名 行方不明:1091名(3/18)

避難者:約39,719名

避難所:本所管内136カ所 総合支所93カ所(3/18 23:00現在)

・食料水、衣服等救援物資が不足している。水、食料も十分に届いていないところがある。

・医療所の支援は行われているが、薬局がなく継続的に薬が入手できていない。

・避難所内で嘔吐下痢、インフルエンザ、シタミが発生している。

・避難所、在宅ともに医療機関の受診が困難である。

・市内に500人いる人工透析患者の医療機関への通院が困難である。

・酸素ボンベ、膀胱ろう、ストマ等の機材・資材の入手が困難である。

・特に高齢者の身体機能低下、服用症候群、身辺動作が困難となっている。

・高齢者において、褥瘡が新規に生じている。

・避難所入所者の要介護高齢者（認知症、夜間不穏、排泄・食事等の介助）の支援者（介護福祉士、看護師等）が不足している。（特定の避難所を福祉避難所として要介護者を受け入れている。

#### 支援者の状況

・指定避難所以外の利用者の状況が把握できていない。

・介護保険サービス提供事業所の状況が把握できていない。

・在宅、避難所ともに要介護者の状況が把握できていない。

・ガソリン不足により支援者の移動が困難である。

・ボランティアの活用が進んでいない。

・職員の問題が生じている。

・性犯罪、暴行事件等治安が悪化している。

・保健担当の保健師が医療班への同行、救護所、庁内診療所に人員をとられている。

#### 【東松島市】

3月18日 pm8:00(藤原班長)

・東松島市本部会議 AM6:00、PM6:00

#### 【女川町】

3月18日 PM7:00

- ・埋葬の今後の方針について、県の機関と直接話したい。
- ・健康推進課、医療整備課より医療チームを4チーム欲しい
- ・鳥取医科大学が入っている。
- ・女川病院に地域医療振興協会より医師3、4人が集まっている

3月19日 AM8:15(木立)

- ・薬が不足、医療機関情報を教えてほしい。
- ・生保給付者の安否が不明
- ・出産日近くが4、5人いる。産婦人科医が1人来る予定
- ・女川クラーンセンターの借り置き場所が1週間程度でなくなる。

3月20日 PM2:00

- ・自衛隊が総合運動公園内に医療用テントを張り、明日から診療を開始する。スタッフも自衛隊。簡単な診療も可能。
- ・3月21日(月)より駅前周辺のがれき撤去が始まるので、周辺を通る際は注意すること。
- ・3月21日(月)頃から少しずつ復元開始の予定。

3月21日 PM5:40

女川町阿部企画総務課長との調整

(氏家)

県の災害対策本部へ電話。小野寺危機管理監との調整したところ、『東松島市から女川町への職員派遣（災害救助法に関する事務指導用務）については、県が介した文書のやりとりは後日でOKです。東松島市と女川町との間で進めてもらいたい。』との回答であり、その旨女川町へ伝達。（女川町阿部課長）

了解しました。

東松島市から連絡があり、青山さんという方を3月22日(火)に女川町へ派遣するということであった。

3月21日 PM6:00(千葉)

- ・新規伝達事項は特になし。
- ・人員と物品の手配について阪本班長と西條さんによろしくお伝え下さいとのこと。

#### 【県庁への状況説明】

- ①災害救助法への2市1町への対応状況
- ②災害関連業務の取り組み状況説明及び業務推進のための人員派遣要請
- ③人員派遣要請に関するバックデータの作成

#### 【所内打合せ事項】

3月22日 AM10:30

- ・仮事務所「石巻西高校」に決定された。
- ・仮事務所への移転に当たり、県HPトップページへの記載については、東部地方振興事務所を通して、広報課へ依頼する予定（東部地振へ連絡済）
- ・当分の間、2市1町へ出先機関（福祉事務所受付機関）を設置したいと考える。ただし、人員不足である。今週中に県庁と調整し、来週には設置を調整したい。
- ・医療関係は、日赤が災害本部である。



**東北地方太平洋沖地震関連現地情報**

平成23年3月27日  
東部保健福祉事務所

**東部保健福祉事務所（石巻保健所）は、  
県立石巻西高等学校に移転しました。**

住所：東松島市赤井字七反谷地27

連絡先

企画総務班：090- (携帯電話)  
090- (携帯電話)  
地域保健福祉部：090- (携帯電話)  
090- (携帯電話)  
環境衛生部：090- (携帯電話)  
090- (携帯電話)

(お願い)

電話の取替は学校の負担になりますので、  
学校の電話番号へは掛けないようお願いします。

**【地域保健福祉部】**

〔生活保護担当〕

- 生活保護費の4月定例支給分の入力作業が終了しました。  
(北部保健事務所で作業、山口次長が従事)
- 生活保護受給者の安否確認調査が終了しました。
  - ・調査期間 3月19日(土)
  - ・対象施設 女川町避難所、女川町健康福祉課生活保護担当係長
  - ・被災の状況 保護世帯総数62世帯のうち、生存(一部不明者はある)42世帯、行方不明20世帯
  - 保護受給者総数87人のうち生存57人、行方不明30人

〔成人・高齢班〕

- 介護保険施設の被害状況調査が終了しました。
  - ・調査期間 3月19日(土)、22日(火)
  - ・対象施設 特養15、老健8、養護1、軽費5
  - ・被災の状況 入所者 死亡9(不老園6、万生園3)  
行方不明40(不老園40)
  - ・管内栄養士の安否状況 東松島市在宅栄養士1名死亡(3/23現在)
  - ・避難所の状況 石巻市:アレルギー対応食配布 高齢者:えん下困難者用食品配布予定  
女川町:食事・栄養状態の調査実施予定

〔母子・障害班〕

- 認可保育所の被害状況調査を随時実施しています。
  - ・調査日 3月19日(土)
  - ・対象施設 石巻市、東松島市、女川町の公立保育所
  - ・被災の状況 地震、津波時に保育所にいた児童・保育士は全員無事でした。ただし、迎えに来て帰った子どもについては、現在安否確認中

〔疾病対策班〕

- 麻疹・結核患者等の被害状況調査が終了しました。
  - ・麻疹罹患者1名(東松島市)については、風邪ということでした。
  - ・レジオネラ症の発生届けを東北大から受け、本人は重症(石巻市内・男性61歳)
  - ・各市町避難所にリスクアセスメントを実施し、結果が出しだい指導に入る予定
  - ・今後、発生が予想される感染症に注意喚起する。

**【環境衛生部】**

〔食品衛生班〕

- ・避難所の食品衛生指導をしています。3月24日(木)までに、石巻市13ヶ所、東松島市2ヶ所、女川町16ヶ所をまわりました。

〔獣疫害事班〕

- ・2市1町土葬開始に伴う現場確認を終了しました。
  - 3月22日(火)東松島市大塩
  - 3月23日(水)石巻市日和山北崩山墓地
  - 3月24日(木)女川町野宮の神公墓
- ・国からの一般用医薬品をの配達を行いました。
  - 3月24日(木)東松島市、女川町

〔環境対策班〕

- ・国から消石灰受給調整の要求が入っている。

〔廃棄物対策班〕

- ・石巻市の屎尿処理施設が甚大な被害、避難所の衛生確保のためにもエリアを超えた、トイレのくみ取り等が急務
- ・石巻広域事務組合のゴミ焼却炉が致命的損傷、修繕まで3ヶ月か。
- ・市内の道路は災害ゴミの山、さしあたっては、生活ゴミの処理が急務、エリアを超えた処理の応援体制を切望

**東日本大震災関連現地情報**

平成23年4月27日  
東部保健福祉事務所

- 東部保健福祉事務所(石巻保健所)は、4月18日(月)から石巻合同庁舎仮事務所に移転しました。

名称:宮城県石巻合同庁舎仮事務所  
所在地:石巻市南境新水戸1番地 石巻専修大学内  
代表電話番号:0225-95-1411  
内線電話はこれまでと同じです。  
期間:平成23年4月18日(月)から9月30日(金)までの予定です。

〔各市町への職員の派遣状況〕

(市町への派遣 第5クール平成23年4月5日～4月8日)

活動先	所属	業務	氏名	備考
1 石巻市	東部保福	保健活動	船谷 祐子	
	疾病・感染症対策室	保健活動	後藤 百合子	
	疾病・感染症対策室	連絡員	平田 純	
2 女川町	仙台保福	保健活動	高橋 厚子	
	仙台保福	保健活動	大泉 聖子	
	仙台保福	保健活動支援	主簿 孝幸	
	仙台保福	連絡員	高内 淳	
3 所内対応	仙南保福	保健活動	早坂 美恵	
	中央児相	保健活動支援	矢代 紀章	
	仙南保福	保健活動	菅原 美帆子	
	仙南保福	保健活動支援	佐々木 健人	

(市町への派遣 第6クール平成23年4月8日～4月11日)

活動先	所属	業務	氏名	備考
1 石巻市	東部保福	保健活動	小川 美穂	
	仙台保福	保健活動	菊田 久弓	
	仙台保福	連絡員	木村 博	
2 女川町	仙南保福	保健活動	松田 祐子	
	仙南保福	保健活動	鶴若 美穂	
	仙南保福	保健活動支援	佐藤 祐介	
	北部保福	連絡員	高橋 陽子	
3 支所状祝祀 堀	リハセン	保健活動	千葉 敦子	
	仙南保福	保健活動支援	大谷 信	
4 所内対応	北部保福	保健活動	坂本 由樹	
	中央児相	保健活動支援	阿部 哲幸	

(市町への派遣 第7クール平成23年4月11日～4月15日)

Table with 5 columns: No., Activity, Location, Activity Type, Staff Name, Remarks. Rows include activities in Iwate City, Gaijuku, and branch offices.

(市町への派遣 第8クール平成23年4月15日～4月19日)

Table with 5 columns: No., Activity, Location, Activity Type, Staff Name, Remarks. Rows include activities in Iwate City, Gaijuku, and branch offices.

(市町への派遣 第9クール平成23年4月19日～4月23日)

Table with 5 columns: No., Activity, Location, Activity Type, Staff Name, Remarks. Rows include activities in Iwate City, Gaijuku, and branch offices.

(市町への派遣 第10クール平成23年4月23日～4月27日)

Table with 5 columns: No., Activity, Location, Activity Type, Staff Name, Remarks. Rows include activities in Iwate City, Gaijuku, and branch offices.

(市町への派遣 第11クール平成23年4月27日～4月30日)

Table with 5 columns: No., Activity, Location, Activity Type, Staff Name, Remarks. Rows include activities in Iwate City, Gaijuku, and branch offices.

<保健活動報告>

東部保健福祉事務所では、保健福祉部各課所の保健師や事務職員の応援を得ながら、管内市町に対する震災への緊急対応の支援を中心に行ってきた。震災で失われた地域社会のシステムはあまりにも大きいものであるが、震災後1か月を経過し、緊急避難から生活再建の段階に移行しつつある。震災後の石巻地域の保健福祉医療システムの再構築を早急にすすめていく必要がある。他県の公衆衛生医師の応援も得ながら、市町の中長期的なビジョンづくりを支援していく。

(これまでの主な活動)

- 石巻日本病院医療チームとの調整支援
心のケアチームの調整支援
福祉避難所設置に向けた調整支援
二次避難に向けた調整支援
市や総合支所、町の現状把握、巡回活動支援
県外応援チームの調整支援、課題の整理

(今後の主な活動)

- 市が行う中長期的なビジョンづくりの基礎作業

※中長期的なビジョン：避難所の現状や全戸調査の結果を分析し、避難所の解消や通常業務の再開までの課題を整理し、地域の保健福祉医療システムの再構築に向けたおまかな実施内容を時期を示すもの。

1) 石巻市 (旧市内)

- <避難所> 72 避難住民数 8086人 (4月20日現在) 14のエリア制にしている。
<保健関係の主な動き>
・全県地域の全戸訪問調査中

- 避難所における要介護者の把握と福祉避難所の増設について検討中
二次避難について事前説明と健康チェック
4月16日 避難所クリーンキャンペーンを実施 (石巻市19避難所)

<業務>

- 石巻市の統括保健師のサポートとして、企画調整、様式作製、他組織との打ち合わせに同行。
8時 15分からの朝のミーティング、夜間ミーティングに参加、その後打ち合わせ。
日頃の医療チームミーティングに参加し、救護活動の動き、感染症発生状況、問題点について把握。
公衆衛生体制の再構築のための助言を行っている。とくに乳幼児健診や妊婦健診、予防接種など早期に再開するものについて調整中。
パンフレット、チラシの作成
エリア担当となって指示された業務を遂行する場合もある。

<その他>

- 4月20日から大分県の内田保健所長と高塚課長補佐が石巻市健康部健康推進課に支援に入った。

2) 石巻市総合支所

<避難所> 46 避難住民数 4320人 (4月20日現在)

<業務>

- 河南、桃生、河北の支所はライフラインの復旧が比較早く安定の方向へ向かっている。しかし、雄勝、北上、杜夷はライフラインの復旧が遅れており、また、復旧の見通しがたっていない。ゆえに優先順位は雄勝、北上、杜夷、河南、桃生、河北の順位とし、各支所を巡回している。支所では、要望や課題について聞き取り、助言している。また、避難所を訪問し、その結果を支所、石巻本庁に報告している。
本庁からの感染症リスク対応チームに現状を説明し、避難所にも同行している。

<その他>

- 東北大学チームが雄勝地域の公衆衛生体制の再構築 (2年くりのズパン) について全面的に支援することで石巻市と協定を結ぶ方向で検討中。

3) 東松島市

- 災害業務、通常業務の体制の立ちは自力で遂行しており、保健師、精神作業福祉士等の派遣調整など要望があれば随時対応している。
今後災害前の公衆衛生体制の再構築の状況を確認していく。

4) 女川町

<避難所> 21 避難住民数 約1700名 (4月20日)

<業務>

- 各保健活動の調整サポート
心のケアチーム、リハビリチーム、在宅ローラー作戦チーム、健康相談チームなど
要支援者の経過把握とデータ管理
可保健師のサポート
ファイル作製・整理 (在宅用ファイル、避難所用ファイル、総合体育館用ファイル)
企画調整、他組織との打ち合わせ
ミーティング後、可保健師と打ち合わせし、明日の取組みを決め、早朝ミーティングでオリエンテーションをしている。可保健師ができるよう移行していく。

<保健関係の主な動き>

- 在宅の全戸訪問実施済み
避難所の一斉訪問し、巡回健康相談チームで2週目実施中 (医師、保健師など)
二次避難者 350名 調整中
事業再開に向けて準備中
保育所再開に向けて調整中
保健活動の拠点としての保健センターの場所を選定中。

<保健活動実施において把握した石巻市の課題への提案>

- スタッフの休職について
市役所スタッフは、休みなく働いてきているので、休みが必要である。

【提案】

- 支援チームで、県外派遣組に対し土日にオリエンテーションを実施を提案した。
2) 避難所プロジェクトチームについて
「福祉保護課内プロジェクトチーム」
プロジェクトチームの目的：避難所情報共有・集約、各課の連携強化
避難所運営会議 (健康推進課長もメンバー)

【提案】

- 避難所運営会議で、課長に健康推進課としての意見を言ってもらう。
避難所常駐担当職員 (市職員、派遣職員) の引継書に記載すべき内容
・ ころのケアチーム等の巡回相談日時
・ 集団生活になじまずに出て行った人の連絡 など
・ 共有ファイル (医療チーム、ころのケアチーム、保健師チーム)
3) 今後の業務のあり方について
・ 県外からの派遣保健師チームの業務内容について
・ ルーチン業務の再開について
・ 新生児訪問や乳幼児健診は6月から始めたいが、人手が足りない。

【提案】

- 今後の被災者対策の進め方については、派遣チームも含め検討する。
ルーチン業務については、事務量・保健師の必要延べ数を算出して、県への派遣依頼に反映させる。

- 日本看護協会からの避難所支援が、近々終了となる。
【問題点】 これまで看護協会の看護師がそれぞれの避難所で果たして来た、介護ニーズ、生活支援ニーズが顕在化して、避難所から不満の声があることが予想される。
【市の方針】 福祉避難所の体制確保が必要。遊楽館を要介護度の高い人向けの避難所として、桃生トレスを要介護度の低い人向けの避難所とし、残った一人暮らしなどの人には在宅サービスを提供する体制を構築する。

【アクション】

- 遊楽館を実質運営している市立病院スタッフとの協働
①桃生トレスの受け入れ準備 (進行中)
②在宅サービスの確保 (検討中)
③小野沢先生との構想の共有 (実行予定)

5) 県外支援者の運用

- 県外保健師チーム17チーム、心のケアチーム数チームのスケジュール管理、これらのチームからの課題の聞き取り、改善案の提示について。

【提案】

- スケジュール管理については支援チームが対応する。
定期的なヒアリングの実施

6) 避難所の状況把握

- 医療チームから石巻赤十字病院に集まる、避難所の衛生状況、ライフラインの復旧状況、有症状者の状況などを石巻市が共有できる体制を確保する必要がある。

【提案】

- 医療救護チームミーティングに出席し、相談等の対応を行う。
7) 避難所運用戦略
避難所間格差の問題や、再度津波に見舞われた場合に浸水する避難所が49か所ある問題など、公衆衛生的、機器管理的観点から、避難所の最低基準 (一人当たりの広さ、ライフラインの状況、食事・栄養の状況、津波からの安全性など) が必要。

【提案】

- 健康推進課としての意見を集約し避難所運営会議で提案する。
8) 全戸訪問健康調査の運用
地区の優先順位付け、迅速化が必要。
【提案】 支援チームで検討をする。

【4月26日までの主な活動実績】

【企画総務班から】

- 【震災対応】
  - 医療従事者免許臨時窓口の開設
    - ・東松島市役所 欠本保健相談センター（4/7～4/8 10時～12時）
    - ・石巻市役所 健康推進課窓口（4/11～4/13 10時～12時）
  - 医療機関の被害状況調査の実施
    - ・39カ所/全146カ所

【地域保健福祉部から】

- 【生活保護担当】
  - 【通常業務】
    - 保護費4月支給（窓口払い）のための各種作業
    - 女川町仮庁舎、避難所及び自宅（被災していない者）で生活保護費支給
    - 5月支給に向けた保護費変更入力作業など各種作業
    - 社会福祉課からの照会に対する回答作成、報告
    - 各医療機関への医療券の送付

【成人・高齢班】

- 【震災対応】
  - 1 介護保険関係
    - 管内介護保険施設等訪問調査（特養、老健、軽費、養護）（4/13～15 19施設）
      - ・定員超過受入れの状況やそれに伴う従業者の勤務体制、その他問題点を調査
    - 電話により管内の居宅介護保険事業所の活動状況調査（4/13～15）
      - ・居宅介護支援事業所のうち、利用者の状況を確認できた事業所数44箇所中、震災・津波による死亡者が5名以上の所、27箇所
      - 市町との打合せ：石巻市介護保険課（4/14、4/26）、女川町（4/13、4/20）
      - 介護保険施設入所の調査支援
        - ・石巻市介護保険課に当所属員1名を派遣（4/25～28）

2 栄養改善グループ

- 避難所の食事状況等調査（3/29～4/12）
  - ・県健康推進課、大崎・栗原保健所、県栄養士会等の協力を得て、市町とともに管内の避難所を巡回し、食事状況、栄養関連ニーズを調査
- 被災者への食事提供
  - ・調査を受けて、石巻市では22日から17、000食の弁当を夕食として提供している（女川町は、検討中、東松島市は、3月27日より実施済）

3 リハビリテーショングループ

- 避難所調査（4/9～10）
  - ・県理学療法士会、作業療法士会の協力を得て、DVD検査医療チーム、健康運動士チームと合同で避難所のエコマニークラス症候群ハイリスク者の抽出と運動指導を実施
  - リハ支援センターから職員1名（栗津正貴技師）の派遣（4/25～4/28）
  - 避難所の相談等への対応
    - ・生活不活発者、福祉用具等について、理学療法士会、作業療法士会の協力を得て対応
    - ・避難所の住環境整備、動作指導、福祉用具等について、理学療法士会、作業療法士会等リハ関連団体等の活動の調整
  - 遊樂館、桃生トレーニングセンター（4/27開設）の運営支援
    - ・住環境、スタッフの調整

4 口腔ケア・歯科医療救護活動

- 歯科医療救護活動の状況調査

- 石巻歯科医師会等関係団体の活動調整
- 避難所の口腔ケア、不足物資（義歯洗浄剤、洗口液等）の調査

【母子・障害班】

- 【震災対応】
  - 認可保育所の被害状況の確認
    - ・東松島市（4/8）、女川町（4/8）、石巻市（4/11、4/18）登米市（4/12）
  - 認可外保育所の被害状況の確認（12カ所 4/4～22）
  - 心のケア対策
    - ・管内市町の心のケア対策の状況・課題について各市町と打合せを実施し、今後の支援のあり方を検討
    - ・身体科医療救護チームとの連携や情報共有のために、毎週1回心のケアチームのミーティングに参加
    - ・「災害後の保健活動とこころのケア」に関する研修会（4/14）に参加
    - ・個別相談ケースの対応（電話相談、面接相談、家庭訪問、ケース検討会）

【震災・通常業務】

- 母子・寡婦福祉資金の窓口相談受付（4/26まで延べ20件（うち、重複相談5件））
  - ・生活資金相談7件、住宅資金相談3件、車購入資金2件、就学支度資金相談2件、事業継続資金3件、転宅資金1件、支払猶予申請2件
- 母子・寡婦福祉資金の電話相談受付（4/26まで延べ17件）

【疾病対策班】

- 【震災対応】
  - 感染症予防啓発（被災地における感染症についてなど）
  - 避難所における感染症発生事例報告

【通常業務】

- 結核患者への服薬支援
- 特定疾患・肝炎治療特別促進事業等の手続
- 結核診査部会の運営

【環境衛生部から】

- 【食品衛生班】
  - 【震災対応】
    - 避難所に係る食品衛生指導の実施（4/1～4/26）
      - ・石巻市83カ所（旧市内15、雄勝支所27、河北支所13、北上支所14、牡鹿支所12）
    - 避難所への弁当提供施設衛生指導
      - ・石巻市2カ所、東松島市3カ所、女川町8カ所
    - 食品営業施設被災状況調査中

【通常業務】

- 食品衛生法に係る相談・指導・許可
  - ・震災に伴う飲食店の廃業多数

【獣医事業班】

- 【震災対応】
  - 所有者不明の毒物・劇物の調査・確認の実施（連携対応：廃棄物対策班、石巻市環境課）
    - ・6件
  - 薬局及び医療機関の被害状況調査の実施

- ・23カ所/全96カ所
- 死亡獣畜の埋却現地調査
  - ・5カ所～現状では主に化製場搬入で対応中（現在の処理状況：豚0匹/約700匹、牛200頭/400頭 4/16現在）
- 避難所における犬猫飼育状況調査の実施
  - ・75カ所

【通常業務】

- 養蚕法及び麻向法等による申請・届出相談
  - ・麻業等事故届 7件、廃棄届 8件受付
- 害情等による畜犬パトロール

【環境対策班】

- 【震災対応】
  - 水質汚濁防止法等に係る特定施設被害状況調査（独自調査）
    - ・被災した特定事業場からの化学物質・廃液等の流出による周辺への影響の有無等の確認調査
    - ・危険性や影響が大きいと判断される石巻市内沿岸部の13カ所を実施したが、緊急対応の必要ものはなかった。
  - 害情・通報等に係る対応調査
    - ・冷凍施設からのアンモニア漏洩対応、重油漏洩に関する現地調査
  - 環境中のアスベスト測定・調査（環境省調査立会）
    - ・環境省によるアスベスト測定調査に保健環境センター大気環境部と共に調査立会（4/15）を行ったもの。測定箇所は東松島市街地及び石巻市街地の2カ所。
  - 被災したリサイクル事業者等への支援活動
    - ・産業総合技術センターが被災中小企業支援活動の一環として、汚泥洗浄用の高圧洗浄機の貸出しを行っていることから、3R推進事業に関連したリサイクル事業者等へ周知し、貸出しのマッチングを行った（1件）。
  - 各市町との情報連絡等
    - ・各市町の環境課や町民課との情報交換及び連絡調整（1回/週）。

【廃棄物対策班】

- 災害ゴミに係る仮置き場の監視・指導の実施
  - ・石巻市5カ所（南境、工業港、雄勝、北上、河北）
  - ・東松島市（大曲浜）
  - ・女川町（魚市場）
- 廃棄不法投棄に係る調査指導の実施
  - ・3件
- 津波被害に関するPCB含有コンデンサー等の確認・調査の実施
  - ・漂着 1件
  - ・流出 1件
  - ・確認事業所 17事業者/全200事業者

【通常業務】

- 廃棄物処理法関係相談・指導・許可

【その他の動き】

- 石巻地区での避難所等の保健医療福祉活動にかかる意見交換会（4/7）
  - ・保健福祉部柱本技師次長が管内各市町、医師会を訪問し意見交換
- 第2回災害対策本部東部地方支部会議（4/11）
- 石巻市長と東部地方振興事務所長及び東部保健福祉事務所長との面談（4/21）

【東部保健福祉事務所発プロジェクト】

- 当事務所では各市町のニーズを踏まえ、地元市町と協力しながら、さまざまなプロジェクトに取り組みんでいます。

【避難所清掃キャンペーンの実施】

- 目的
  - ・避難所の清掃を行い土足禁止の啓発及び衛生的な居住環境を確保する。
- 実施内容
  - ・避難所の清掃を呼びかけ、避難者が自ら清掃することを促すことと、清掃方法を周知する。
- 対象
  - ・石巻市内全避難所（141箇所（4/5現在）総合支所管轄避難所を含む）
- 実施期間
  - ・平成23年4月16日～全避難所完了まで
- 実施経過
  - ・初日（4月16日）に、石巻市、石巻保健所、ボランティアを含め総勢80人以上で、19箇所の避難所を実施。
  - ・土足禁止、トイレを含めた清掃習慣についての周知を行ったことにより、衛生環境のが改善された。
- 今後の対応
  - ・ボランティアを中心として、今後、各避難所を、順次、実施していく予定。



宮城県東部保健福祉事務所  
復興支援ニュース 創刊号  
平成23年7月

創刊に寄せて

震災復興支援ニュースの創刊に当たり、謹んでご挨拶申し上げます。去る3月11日の東日本大震災により甚大な被害が発生しました。大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様には心からお見舞いを申し上げます。

東部保健福祉事務所では、地震直後の初期段階からの被災地支援活動として、避難所を中心に保健活動を行うなど、被災された方々の生活支援に取り組んできております。これまでに多くの関係者との連携、ご支援の下に諸活動が進められたことを、この場をお借りて感謝申し上げます。

目下、宮城県をはじめ、地元の石巻市、東松島市、女川町では、被災された方々の生活支援と被災地の復興に全力を挙げて取り組んでいるところであります。特に、被災した医療・福祉施設の早期復旧、そしてまちづくりと一体的に保健・医療・福祉提供体制の再構築を図ることが急務となっております。

このように、子どもから高齢者まで誰もが安全で安心して暮らせる地域づくりに向けて全力で取り組んでいくとともに、復興支援に関する情報を震災復興支援ニュースを通じて皆様にお伝えしてまいります。

東部保健福祉事務所長 氏家栄市

石巻市立病院仮診療所にドーム型診療所開設

◆石巻市立病院は津波で建物が甚大な被害を受け、4月から石巻市日和が丘（旧市教委事務局棟の敷地内）に仮診療所を開設し、従来の14科から7科に規模を縮小して外来診療を行ってきました。さらに、同敷地内にドーム型診療所を開設し、眼科の診療を再開することになりました。



このドーム型診療所は、石川県の金沢泉丘高等学校の同窓会が県、企業、大学の協力を得て発足させた「被災地医療施設支援プロジェクトチーム」から寄贈されました。

このドームは発泡ポリスチレン製で、1棟が直径7メートル、高さ3.2メートル、床面積36平方メートルの2棟続きとなっており、工期が短く、耐震、断熱性に優れた建物ということで、眼科の診療室や待合室として利用。眼科はこれまで、問診で対応してきましたが、ドーム移転後は眼圧測定器などの医療機器を置き、7月20日から診療を行っています。

復興支援ニュース 創刊号

木材がれき再利用開始！

◆宮城県とセイホクは東日本大震災により発生した木材がれきをリサイクルする取り組みをスタートさせました。



石巻市南境の石巻商業高校に隣接する仮置き場に保管された木材がれきをセイホクグループの西北ブライウッド（石巻市西浜町）の工場へ7月15日から順次搬出しています。工場では手作業で異物除去を行ったあと、破砕、塩分除去等を行い、パーティクルボードの製造やバイオマスボイラーの燃料として利用されます。3ヶ月で約3万5000トンの木材がれきを同仮置き場から運び出す計画で、被災地のがれき処理に貢献します。

熱中症にご注意を

熱中症には予防が大事！

- その1 暑さを避けましょう
- その2 水分補給を習慣にしましょう
- ・暑いと感じる前、のどが渇いたと感じる前に水分を補給しましょう。
- ・一日1.5ℓを目安に、何回かに分けて水を飲みましょう。
- ・たくさん汗をかいた時は塩分も補いましょう。コップ1杯の水にほんのひとつまみの塩を入れた量が適当です。

熱中症？と思ったら

- 涼しい場所で衣服をゆるめ、体を冷やします
- 足を高くして寝かせます
- 水分を補給します
- 吐いて水分をとれなかったり、意識がもうろうとする場合は、救急車を呼びましょう

問い合わせ先  
宮城県東部保健福祉事務所  
企画総務班 企画調整グループ  
H P: <http://www.pref.miyagi.jp/et-hc/>  
T e l: 0225-95-1416  
F a x: 0225-94-8982

イベント情報

食中毒予防街頭キャンペーン

◆8月は食品衛生月間です。夏期は、カンピロバクター・ジェジュニ/コリ、サルモネラ属菌、腸炎ビブリオ、腸管出血性大腸菌といった細菌による食中毒が多発する時期であり、特に注意が必要です。



石巻保健所及び石巻地区食品環境衛生団体連合会では平成23年7月29日（金）午後2時30分から石巻駅前と石巻市役所（エスタ前）において食中毒予防街頭キャンペーンを開催します。当日は、食中毒予防啓発うちわ500枚も配布しますので、ぜひお立ち寄りください。

管内の避難所情報

避難所数および避難者数（7月20日現在）

	避難所数	避難者数
石巻市	77カ所	4,128人
東松島市	29カ所	717人
女川町	11カ所	681人

編集後記  
編集担当になりました、佐々木、大崎、佐藤です。よりよい支援ニュースを作っていきたいと思いますので、ご意見、ご要望、情報などありましたら、左記までお寄せください。お待ちしております(´\_`)/

復興支援ニュース 創刊号

宮城県東部保健福祉事務所  
復興支援ニュース Vol.2  
平成23年8月

災害ボランティアセンター活動状況 in 石巻市

石巻市社会福祉協議会が運営する石巻市災害ボランティアセンターでは、平成23年3月15日に開設して以来、県内外から延べ8.4万人を超えるボランティアの方々が、仮設住宅への引っ越しや家財の清掃、がれき撤去、避難所の運営、地域の側溝清掃などの計8千件を超える活動に参加されてきました（8月1日現在）。また、個人での参加以外にも、多くの企業が社会貢献という立場で、ボランティア活動や物資等の支援を行っており、同センターでは被災者の方々の要望とボランティア活動のコーディネートを行ったり、被災現場の要望確認をするなど、多くのボランティアスタッフが毎日忙しい日々を送っています。

同協議会では石巻市からの業務委託により、仮設住宅に入居する被災者の高齢者や障害を抱える方々などの孤独死ゼロを目標に「見守り活動」を行う予定です。また、石巻市復興支援協議会・NGO・NPO・ボランティア団体などと協力しながら、引きこもりを防止するために、仮設住宅集会所などで「サロン活動」を行い、新たなコミュニティを作るためのサポート事業を展開する予定で準備を進めているという話がありました。



【足湯ボランティアの様子】

雄勝に惚れた石井医師夫妻の『まごのて診療所』



【診療室の石井先生】

東日本大震災後、医師が不在となった石巻市雄勝町に東京都港区で内科クリニックを開業している石井直子医師夫妻が『まごの手診療所』を開設しました。石井医師夫妻は、震災の直後から被災地に支援物資を届けるボランティア活動や医療チームとして活動を開始していましたが、石巻市立雄勝病院が大きな被害を受け、機能できないことから、5月29日に同市雄勝町水浜に『まごのて診療所』を開設し、内科・脳神経外科の診療で地域の医療支援を行っています。

現在、石井医師は東京のクリニックとの往復の生活のため、週2日（日・月曜日）の診療を行っていますが、『小規模ならではの小回りのきいた“かゆいところに手が届く”医療ができるようにと、地域の方々に安心感を与える居心地の良い診療所を目指して診療を行っています。診療所内には、全国からの応援のメッセージ等が寄せられており、石井医師は、『最近はこの場所が患者さん達の集会的な場所にもなりつつある』と笑顔で話をしてくれました。

復興支援ニュース Vol.2

石巻市に福祉仮設住宅完成

宮城県では、石巻市内に高齢者グループホーム型福祉仮設住宅及び障害者グループホーム型福祉仮設住宅を建設しました。車椅子に配慮して段差を無くしたり、手すりを付けるなど高齢者や障害を抱える方々に配慮した仕様となっています。8月3日に石巻市南境で見学会が行われ、社会福祉施設などの関係者の方々が見学にいられました。



この仮設住宅を管理する石巻市では、最初に体験入居を行い、9月から正式に入居を開始する予定で準備を進めています。また、宮城県では、石巻市、東松島市、女川町でも同様の福祉仮設住宅を建設予定です。



【高齢者や障害者に配慮された浴室】

管内の避難所情報

避難所数および避難者数（8月17日現在）

	避難所数	避難者数
石巻市	66カ所	2,395人
東松島市	10カ所	98人
女川町	9カ所	338人

問い合わせ先  
宮城県東部保健福祉事務所  
企画総務班 企画調整グループ  
H P: <http://www.pref.miyagi.jp/et-hc/>  
T e l: 0225-95-1416  
F a x: 0225-94-8982

仮設住宅で生活される皆様へ

<生活の中で>

■換気と空気の汚れ  
調理中や冷暖房時、喫煙時には窓を開けたり、換気扇を利用して換気をしましょう。

■家具など  
持ち込まれる家具や建材、殺虫剤や防虫剤等の家庭用品から化学物質が発生する場合があります。購入の際には使用材料等の表示を確認するとともに通風や換気心がけましょう。

■カビ・結露を防ぐ  
アレルギーやシックハウスにも関係が深いカビ対策の基本は、結露防止と清掃です。湿度管理を心がけましょう。室内の水分は、人体や調理、洗濯物、植物などからも多く出ている。生活の工夫で水分を出し過ぎないように、また除湿器使用や空気の入れ替えをして、水分をため過ぎないように気をつけましょう。

<虫対策>

■蚊の発生を抑える  
仮設住宅周辺の排水溝が詰まっていると、たまりができて、蚊の幼虫が発生します。応急的な処理としては、幼虫駆除の薬剤が簡単に有効です。建物の雨水マスなど、水がたまりやすい場所に幼虫駆除の薬剤を処理しておくのも、蚊の発生を抑える効果が期待できます。空き缶やペット、花立て、古タイヤ、がれきの小さな水たまりでも蚊の幼虫が発生します。必要のない容器を捨てたり、水を1週間に1度は捨てるのが大切です。

■室内に入れないために  
玄関の内側に「玄関カーテン」と呼ばれるメッシュカーテンを取り付けると、ハエや蚊が玄関から入ってくるのを防ぐことができます。

編集後記  
編集担当の佐々木、大崎、佐藤です。仮事務所（37℃!?）の暑さを乗り越えました。読者の皆様を元気づける支援ニュースを作りたいと思いますので、ご意見、ご要望、情報などありましたら、左記までお寄せください。お待ちしております(´\_`)/

復興支援ニュース Vol.2



# 宮城県東部保健福祉事務所 (宮城県石巻保健所) 復興支援ニュース Vol.3 平成23年9月

## 石巻専修大学、石巻地域を救う！

3月11日に発生した東日本大震災以降、石巻専修大学は地域の復興拠点として役割を果たしてきました。同大学は、地震当日から行き場をなくした住民などの避難所となり、次いで自衛隊のヘリポート・宿营地や災害ボランティアセンター、日本赤十字社の救護所も設置されました。また、被災した我々宮城県石巻合同庁舎の職員にも、体育館を仮事務所としてご提供いただきました。今回、石巻専修大学の坂田学長に話を伺いました。



### 社 会に対する報恩奉仕の精神で

震災後、大学は最大で約1,200人を抱える避難所になった。地震発生時、私は出張のため不在だったが、大学に残った職員と電話でのやりとり、報告・判断・指示で、対応を進めてきた。この大学は地元地域からの支援もあって建学したものであり、教職員も皆、建学の精神を覚えている。教職員・学生が『私学の魂』で、快く地域に貢献、活動できたと思う。また、学生の授業に大きな影響を与えてきたことを覚悟しながらも、**東民の利益を最大限に考慮し**、宮城県石巻合同庁舎仮事務所として施設を提供した。

### 地 域が明るくなることをやろう！

被災地の最前線で活動する大学が地域復興のセンターとなり、地域とともに復興を目指すため、『**復興共生プロジェクト**』をスタートさせた。ボランティアツールの研究や津波で被災した自動車の研究など、被災地域独自の研究も行う。また、水産加工施設の技術支援なども行っている。このプロジェクトでは調査の過程で学生もフィールドに出て、現場で学ぶことができる。この大学は**地域に密着した大学**であり、石巻圏域が明るくならないと大学も明るくならないのだ。

### 石 巻地域との共生：地域に開かれた大学を目指して

『共生（ともに生きる）』がキーワード。大学は、図書館を地域の方々に開放したり、地域の復興対策に協力しているところ。今後は、災害対策拠点としての機能強化も検討している。石巻専修大学は、大学としての長期的で幅広い視点を持ちつつ、また『戦中の石巻』のような存在として地域の発展に貢献していきたい。そして、『**学生の元気**』を地域に吸い取ってもらえればありがたい。

坂田学長は、家族から贈られた自転車（ロードバイク）で、石巻の『今』を感じながら通勤している。町を歩いていて、地域の方々が『私、大学に避難していたんです』『祖母がお世話になりました』などとお礼を言われることがある。非常に嬉しいことだと語る。

**石巻専修大学学長プロフィール**

名前 坂田 隆  
出身 愛知県名古屋  
経歴 東北大学大学院農学研究科博士後期課程修了（農学博士）、海外の大学や民間会社の研究員、石巻専修大学設置準備事務局、石巻専修大学理工学部教授、同教授、同理工学部長を経て、平成19年より石巻専修大学学長に就任。  
専門 比較栄養生理学  
\*\*\*石巻地域復興へ一言\*\*\*  
『早期の復興復活を望む！』

復興支援ニュース Vol.3

## 聴き上手ボランティア

8月24日、女川町主催で『聴き上手ボランティア養成研修会』が開催されました。研修会では、震災による様々なストレスや不安を抱えながら生活している方々の『話し相手ほしい』『不安や寂しさを誰かに聴いてほしい』と思う気持ちに寄り添い、受け止めて聴くことを学ぶことになっており、全5回の研修会が予定されています。



女川町保健センターで開催されたこの研修会は、講師に国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター長の大河野氏、田島美寿氏及び宮城県精神保健福祉センター職員を招き、同町から15名程のボランティア希望の方々が参加。第1回目は、参加者が自分のことを相手に知ってもらうため、互いに紹介しあうといったロールプレイが行われました。

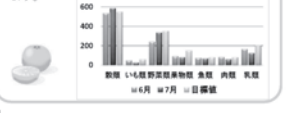
## 避難所における栄養調査

宮城県では、4月より毎月1回『避難所における食生活調査・栄養関連ニーズ調査』を実施しています。

・調査件数（7月）  
石巻市14カ所、東松島市1カ所、女川町2カ所  
・調査項目  
エネルギー、タンパク質、ビタミンB1・B2、ビタミンC、塩分

(7月)	石巻市	東松島市	女川町	栄養調査
エネルギー	1989	1719	2054	1800~2000kcal
たんぱく質	59.0	65.6	66.0	50g以上
脂質	52.0	44.0	48.0	45~55g
ビタミンB1	0.87	0.59	0.87	0.5mg以上
ビタミンB2	0.77	0.70	1.11	0.5mg以上
ビタミンC	55.9	37.2	48.0	50mg以上
塩分	9.3	6.8	11.1	5g未満

野菜類や果物類は不足がちな状況にありますので、食事の時にはできるだけ食べることをお勧めします。お弁当の他に、**野菜サラダ・野菜ジュース・果物などを加える**、不足がちなビタミン・ミネラルが取り、栄養のバランスが良くなります。



高血圧対策野菜(7月)は避難所内の平均値

## 避難所・仮設住宅情報

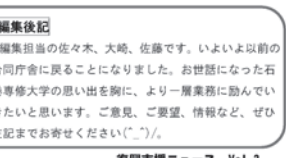
避難所・避難者数及び仮設住宅建設状況(9月14日現在)

避難所	避難者数	仮設住宅着工状況		右記のうち	
		着工戸数	完成戸数	完成戸数	完成戸数
石巻市	50カ所	1,436人	7,297戸	6,359戸	
東松島市	0カ所	0人	1,753戸	1,753戸	
女川町	6カ所	256人	1,294戸	1,057戸	

宮城県東部保健福祉事務所 企画総務課 企画調整グループ  
HP: <http://www.pref.miyagi.jp/et-hc/>  
TEL:0225-95-1416(代表)  
Fax:0225-94-8982

## 事務所移転のお知らせ

9月26日より、東部保健福祉事務所(石巻保健所)は、以前の宮城県石巻合同庁舎(石巻市東中環1-4-32)で業務を再開します。窓口は各担当班すべて合同庁舎の2階になりますので、ご注意ください、お越しください。



復興支援ニュース Vol.3

# 宮城県東部保健福祉事務所 (宮城県石巻保健所) 復興支援ニュース Vol.4 平成23年10月

## 医療救護チーム活動終了

震災以降、県内外から多数の医療救護班が被災地に入り、地域住民の診療等を行ってまいりましたが、9月末までの活動を終えました。10月5日、県内最後の活動拠点となった石巻市雄勝地区で『石巻圏合同救護チーム活動終了式』が行われ、県災害医療コーディネーターである石巻赤十字病院の石井医師から石巻市雄勝診療所長の小倉医師へ救護カルテの引き渡しが執り行われました。小倉医師から『カルテは薄いが大変思いが詰まっています。感謝の気持ちはこれから地域のために頑張っていく』と挨拶がありました。

## 石巻市雄勝診療所開設

10月5日、石巻市雄勝診療所の開所式が行われました。診療所長の小倉医師は県の『みやぎドクターキュービット事業』により赴任。診療科目は内科、外科、整形外科の3科で診療所は診療室のみ、待合室、薬局などを備え、同日診療開始となりました。石巻市では寄礁地区でも診療所(内科、神経内科、循環器内科)の再開に向けた準備をしています。

**小倉健一郎医師プロフィール**

神戸市出身。佐賀医科大学卒業後、整形外科から内科まで幅広い診療に携わる。イタリヤ・スウェーデン・インドネシア・四月での災害救護や感染症上層での支援実施、難病での医療経験も多い。東日本大震災発生直後から2度宮城県に入り、各地避難所で診療にあたり、

## 牡蠣のシーズン到来

県では、かき刺しを開始するにあたって、毎年、生食用かきを養殖する海域の海水検査を実施していますが、今年も10月3日に海水検査がスタート。震災の影響により今年は採水地点数が大幅に減少し、鳴瀬東部海域4カ所、宮戸西部海域1カ所、万石浦海域7カ所、長浜沖海域5カ所の合計17カ所となりました。管内のすべての地点で、かきの養殖海域の海水基準(食品衛生法に基づく生食用かきの加工基準：大腸菌群数最大値 70 以下/100ml)を満たし、かき処理場の検査が終了・許可され次第、かき刺しが始まり、11月より市場に出荷される見込みです。

## 仮設住宅訪問支援員、活動開始

9月30日から石巻市内で仮設住宅入居者の見回り活動が始まりました。この支援事業は、石巻市社会福祉協議会が石巻市より業務委託を受け、高齢者などの孤独死防止などを目的として定期的に仮設住宅を巡回します。仮設住宅訪問支援員(見回り隊)は臨時職員として雇用されたスタッフや各エリアのコーディネーターなどを合わせ、約160名体制で活動をスタート。2-3人班で仮設住宅を巡回・訪問、アンケート調査を実施し、入居者の安否確認や今後の巡回・訪問の必要性、要望などを確認します。訪問調査の結果、緊急性の高い課題や要望の多い事項などについては、石巻市や地域包括支援センター、保健師などに連絡し、仮設住宅の入居者をサポートしていきます。

復興支援ニュース Vol.4

## 災害廃棄物二次処理業務の概要

石巻地域(石巻市、東松島市、女川町)の災害廃棄物の発生量は約850万トン、津波堆積物の発生量は約380万m<sup>3</sup>。県ではこれらのうち各市町で処理できない廃棄物について中間処分、最終処分に関する委託を受け、鹿島などからなる共同企業体と業務契約を締結しました。処理計画では石巻市雲雀野野草に租界別、各災害廃棄物の破砕選別施設、津波堆積物処理施設を配置し、潮見野(南沼)ヤードに焼却ヤードを配置します。第一段階2012年3月頃までに、既に石巻市が搬入済み廃棄物の災害廃棄物処理、第二段階2012年2月からは、一次仮置き場や解体現場から搬入される廃棄物や津波堆積物を処理し、2014年3月までに終了する計画です。この業務では地元からの雇用促進(目標1,250人/日)、資機材利用の太陽発電、バイオマス発電なども計画されており、地元の地域振興と地球環境の保全にも取り組んでいます。

**【宮城県全体の災害廃棄物等の発生量】**

項目	県全体	石巻市	東松島市	女川町	県全体に対する比率
災害廃棄物	18,184	4,283	1,568	512	4.6%
津波堆積物	11,600	2,000	1,800	0	2.6%

**【業務の実施工程(予定)】**

業務内容	2011年		2012年				2013年				2014年				
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
破砕選別															
津波堆積物															
焼却															
バイオマス発電															
太陽発電															
建設費															
総計															

県では、震災により生じた石巻地域(石巻市、東松島市、女川町)の災害廃棄物処理業務の運営管理や地元との調整を円滑に進めるため、10月3日から現地管理事務所を県石巻合同庁舎内に新たに設置しました。当面の期間、3名の職員体制で対応していきます。10月23日には二次処理施設建設工事の安全折衝が執り行われるなど、災害廃棄物の二次処理業務がよいスタートしています。

## 心のサポート拠点『からころステーション』開所

10月19日、震災により心のケアを必要とする方々のサポートを行う拠点として、『からころステーション』がR石巻駅前が開所しました。この事業は石巻市が『心のサポート拠点事業』の一環として、一般社団法人『震災このころケア・ネットワークみやぎ』(代表：仙台市 原クリニック 原敬造院長)に運営を委託したものです。同日開所式が行われ、原代表は『医療、精神保健、福祉の面からも協力しあって、被災者の心のケアについて考え、被災者の孤立や不安などの問題が深刻化しないよう予防活動や講演会を行ってきたい』と挨拶。今後、石巻市と連携して個別訪問を行い、悩み事の相談のつたり、症状に応じて医療機関を紹介するなど活動を行っていきます。

復興支援ニュース Vol.4

# 宮城県東部保健福祉事務所 (宮城県石巻保健所) 復興支援ニュース Vol.5 平成23年11月

## 石巻市畜産診療所が再開しました！



【開所式の様子】

石巻市牡鹿の畜産・前浜地区では震災により診療所が被災し、無医地区となっていました。11月9日、石巻市畜産診療所の開所式が行われ、診療所が再開されました。診療所長の富永医師はまもなく84歳という高齢ながらも、震災前から16年もの間、この地域の医療を見守り続けてきました。開所式では、「この診療所は開設されて40年以上の間、住民に支えられ、必要とされてきた。これからも地域の住民が誇りと希望を持って生活していけるよう、行政、関係者の方々に協力をお願いしたい」と挨拶。当日も地域住民の方々が「富永先生が戻ってきてくれた」と喜びながら開所式に駆けつけていました。畜産診療所は、内科、神経内科、循環器科の3科で医師1名、看護師1名、事務担当1名の3人体制。これまでも1日あたり20～30人の患者さんが受診しており、富永医師は今後は地域で往診も行っていきたくないと抱負を語りました。

### 富永憲弘医師プロフィール

- 出身 石巻市
- 経歴 仙台市医療センター・仙台オープン病院院長を経て、1995年から現職 高血圧症、動脈硬化症

【富永 医師】

## 女川町『ここから専門員』活動開始

11月1日、女川町こころからだとくらしの相談センターの開所式が行われました。開所式では女川町長から『ここから専門員（こころからだの専門員）』の方々に要領状が交付されました。ここから専門員は町内7カ所のサブセンター（集会所）で、仮設住宅や居宅で生活する方々のこころからだの健康支援などを行うことになっており、今後は地域住民が集まる場の企画・運営、交流サロンの企画、こころのケア相談、家庭訪問などの活動が予定されています。



【開所式の様子】

## 被災者支援従事者研修会開催

11月9～11日、県石巻合同庁舎で「宮城県被災者支援従事者研修会」が開催されました。この研修は宮城県サポートセンター支援事務所が仮設住宅サポートセンター従事者を対象として被災者支援業務に関する知識や地域福祉活動の実践ノウハウを学ぶために開催。石巻市、東松島市、女川町などの社会福祉協議会に所属する生活支援相談員や仮設住宅のサポートセンターの相談員60名ほどが参加しました。講師に兵庫県社会福祉協議会地域福祉コーディネーター指導員らを迎え、被災者の抱える暮らしの課題や信頼関係の構築などについてグループワークを行いました。この研修は今回の基礎研修のほか、来年3月まで合計8回の講義が計画されています。

＜仮設住宅サポートセンター設置状況＞  
(11月1現在)

■石巻市	12カ所
■東松島市	3カ所
■女川町	8カ所

復興支援ニュース Vol.5

## 仮設住宅で困っていませんか？

県では、これまでの石巻圏域の相談状況を基に、応急仮設住宅のバリアフリー化ニーズの把握や対応を後押しすることを目的に、宮城県介護研修センター（大崎市）とともに入居者と支援者向けのパンフレットを作成しました。パンフレットでは、特に高齢者や障害をお持ちの方で仮設住宅での入浴や出入り口で支障が生じている方の不便さを解消する方法を紹介しています。当所でもリハビリテーション相談事業で理学療法士が個別の相談対応・支援を行っていますので、ご相談ください。

■問い合わせ先 成人高齢部 ☎0225-95-1419

## 女川町、震災廃棄物の処理状況

女川町の震災廃棄物発生量は、環境省による推定で44,000トンにのぼります。現在、石巻地区に震災廃棄物の処理施設を建設し、粗大ゴミ破砕や再利用木材のチップ化、可燃物の減容化破砕を行っています。石巻地域（石巻市、東松島市、女川町）の中では、女川町が最も早く震災廃棄物処理施設の稼働をし、震災廃棄物のリサイクル事業にも取り組みます。コンクリートがらは、町内の道路高上げに利用、チップ化された木材はセイホクや日本製紙に搬出し、再利用される予定です。また、可燃物については、一部東京都への県外搬出が行われることになりました。

（写真）左の写真は、破砕し、円筒状のふるいで選別するトロンメルライン

## 応援派遣職員を紹介します！

東部保健福祉事務所では、10月1日より東京都から派遣された横井純子さん（保健師）が、母子・障害児の業務をサポートしてくれています。



母子・障害児の保健師として、女川町に派遣された横井純子さん

## 4 東京都から来ました、保健師の横井です！

10月からお世話になっています。9月まで東京都多摩小平保健所で感染症対策の仕事をしていました。結核や感染症発生が多く、例年より多くの施設職員と一緒に、集団感染防止対策に取り組んでいました。また、感染症発生時対応に困っている保育園が多いという地域課題もあり、管内保育園のネットワーク作りで事例検討等をしていました。東部保健福祉事務所では母子保健や精神保健事業、女川町への保健活動支援に関わらせていただいています。被災された住民の方々が願う地域づくりと共に取り組ませていただけることに感謝しています。来年3月までよろしくお願いします。

## 「頑張ってます！」

問い合わせ先  
宮城県東部保健福祉事務所  
企画総務班 企画調整グループ  
HP: <http://www.pref.miyagi.jp/et-hc/>  
Tel: 0225-95-1416(代表)  
Fax: 0225-94-8982

編集後記  
朝晩めっきり冷え込むようになってきました。今年は事務室の座席数が約2倍に増え、心持ち暖かくなることを期待しますが、寒さはこれから！？！しっかりと寒さ対策をして、風邪をひかないよう業務に励みます。ご意見、情報をぜひ左記までお寄せください(´▽`)/。

復興支援ニュース Vol.5

# 宮城県東部保健福祉事務所 (宮城県石巻保健所) 復興支援ニュース Vol.6 平成23年12月

## 仮設石巻市夜間急患センターが開所しました

石巻市夜間救急センターは震災より全壊し、診療休止となっていました。12月1日、仮設石巻市夜間急患センター（石巻市日和が丘）の開所式が行われ、同日診療開始となりました。同診療所は、地域の医療関係機関や日本赤十字社、東北大学病院など多くの企業・団体から支援を受け、診療再開に至りました。診療科目は内科・外科・小児科の3科で、医師はセンター所長・前所長の2名、放射線技師4名、看護師18名の体制。診療設備として、全身用X線CT診断装置や超音波診断装置、エックス線一般撮影装置などを備えています。

### 診療日・時間表

区分	小児科	内科・外科
月～金曜日	午後7時～午後10時	午後6時～翌朝7時
土曜日	午後6時～翌朝7時	
日曜・休日	午後6時～翌朝6時	午後6時～翌朝6時



全身用X線CT診断装置

## 『復興住宅への対応と課題』研修会

11月25日、『復興住宅への対応と課題』に関する研修会を開催しました。研修会には各市町、医療機関、建築関係者など約40名が参加しました。講師に阪神淡路大震災の住環境支援に携わった相良二郎氏（神戸芸術工科大学大学院教授）を迎え、兵庫県内の復興住宅の計画・バリアフリー化等の紹介もあり、今後の復興に向けての取り組みや復興住宅のあり方について勉強する機会となりました。また、仮設住宅の浴室の使いにくさ体験コーナーを会場に設置し、入浴動作の困難に対応する福祉用具の紹介なども行いました。



【研修会の様子】

## アルコールの飲み過ぎにご注意！

震災後、気分のおちこみやこころの傷をお酒で解消したいと考えがちですが、酒量が増え体を悪くしたり、周りの人とトラブルになることがあります。石巻保健所では、アルコールの問題で悩んでいるご本人や、ご家族の相談を受け付けています。相談は専門の相談員が担当します。また、医療機関や市町担当者を対象に、11月30日にアルコール関連問題研修会を開催。石巻地区地域医療対策委員会（事務局：石巻保健所）でも12月13日、アルコール対策研修会を開催し、多量飲酒への考え方や対応方法を勉強する機会となりました。

◆アルコール関連相談窓口◆  
石巻保健所 母子障害班  
TEL: 0225-95-1431

復興支援ニュース Vol.6

## 石巻圏有廃棄物等を回収しました

12月14日、石巻保健所と(社)宮城県産業廃棄物協会石巻支部、(社)宮城県建設業協会石巻支部、管内各市町、宮城県東部土木事務所が連携し、石巻市、東松島市の沿岸部において、放置が確認された石巻圏有廃棄物等について回収作業を実施しました。回収された成形板やスレートなどの石綿を含有又は含有する恐れのある災害廃棄物は、石巻市内(渡波、魚町地区)で約4トン、東松島市内(野暮、宮戸地区)で約2トンでした。こうした石綿含有廃棄物等が解体作業後の現場などにそのまま放置されることがないよう、今後とも関係機関と連携しパトロールを行っていきます。また、石巻保健所では、石綿含有廃棄物等の適正処理と解体現場で働く作業員の健康被害防止のための講習会を来年2月に開催することとしています。



【回収作業の様子】

## 応援職員紹介

今日は、下記の2名の職員が当事務所の応援に来ていましたので、ご紹介します。

## 『感染症かわら版』を作成しました

冬期におこしやすい感染症や、管内で発生した感染症などを取り上げ、被災者の皆様に注意していただく呼びかけのために『感染症かわら版』を作成し毎月2回発行しています。かわら版では病気の特徴や予防法、かかってしまったらどうしたらよいかなどを、イラストを入れたらわかりやすくまとめているので、ぜひご覧ください。また、感染症の予防に欠かせない「手洗い」を子ども達にも知ってもらうため、石巻保健所オリジナルキャラクター「てあらいおん」も作成しましたので、併せてご覧ください。

【てあらいおん】  
【てあらいおん】  
【てあらいおん】

◆「感染症かわら版」当所ホームページにも掲載中◆



■東京都多摩府中保健所 吉見逸郎さん（医師）  
5月は市役所、7月は石巻専修大学体育館、そして今回は合同庁舎にお邪魔しています。それぞれの段階で確実に変化があり、エネルギーを感じます。寒さも本格的になりますので、手洗い、換気、エチケットなど衛生をしっかりして、体調には十分お気を付けてください。

■新潟県魚沼地域振興局 池津治子さん（保健師）  
疾病対策班に所属し、感染症、難病対策等のお手伝いとしております。手洗い、うがいを中心が、早寝早起きで体調をくずさないで応援できればと思っています。石巻は空が明るく気持ちも明るくなります。よろしくお願いします。

問い合わせ先  
宮城県東部保健福祉事務所  
企画総務班 企画調整グループ  
HP: <http://www.pref.miyagi.jp/et-hc/>  
Tel: 0225-95-1416(代表)  
Fax: 0225-94-8982

編集後記  
早いもので、今年も残りわずかです。7月より発行を開始した復興支援ニュースですが、取材の中で少しずつ地域の復興が見えるようになり我々も業務の励みになっています。来年もよろしくお願いたします。ご意見、情報をぜひ左記までお寄せください(´▽`)/。

復興支援ニュース Vol.6



# 宮城県東部保健福祉事務所 (宮城県石巻保健所) 復興支援ニュース Vol.7 平成24年2月

## 『大指十三浜子どもハウス』が完成しました



12月22日、石巻市北上地区に「大指十三浜子どもハウス」が完成し、竣工式を行いました。

「大指復興アクション」世話人の山根一眞さんが3月末に大指地区を訪れ、復興支援を続けていました。その中で、子ども達のための遊び場等が必要と考え、地区の人たちと話し合いを重ね「こどもハウス」建設を計画しました。十三浜の子ども達に使ってもらいたいという思いからこの名称になったそうです。



【子どもハウス全景】



【遊具を受け取り喜ぶ子ども達】

山根さんの挨拶では、竣工までの経緯や「こどもがケガをした場合に備え保険に入った。今後も不足している施設の完成に向け努力したい。維持費等も継続的に支援したい。」等話されました。そして、東京医科大学病院増山医師から子ども達へ「こどもハウス」の健贈覧を行い、子ども達から支援してくれた人たちへ花と色紙の贈呈が行われ、完成を祝いました。

## 野田総理、石巻の仮設住宅を視察

1月10日、野田佳彦総理が石巻市大橋にある仮設住宅を訪問し、石巻市各地の仮設住宅に住む方々と意見交換が行われました。

意見交換会に参加した住民からは、仮設住宅の地域的な格差や排水溝の問題、二重ローンを抱える被災者への措置、地域での雇用創出、津波で浸した土地への対応を求めている意見や要望などが野田総理へ伝えられました。また、野田総理からは「皆さんから前向きな意見が多く聞かれ感動した。震災の教訓をふまえて今後の震災対策を検討していく。」と話がありました。



【奥手前より野田総理と意見交換する住民の様子】

## 感染症が流行しています！

石巻管内では、インフルエンザや感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌が流行しています。予防は「手洗い」が基本になります。食事前やトイレのあと、外から帰ってきたら、手を洗きましょう。

アルコール手指消毒薬を使う場合は、十分な量を手にとり、手のひら、手の甲、指先(爪)、指のあいだ、手首に、乾くまでよくすり込みましょう。インフルエンザでは、人混みのなかでマスクをするのも有効です。



「手洗い」のコツは泡をたくさんつけて洗って、よくすすぐことだよ。ホームページの「かわら版」もみてね

復興支援ニュース 2月号

## 東松島市で被災自動車の処理(県受託分)が始まります



東日本大震災の大津波により、宮城県では約14.6万台(推計)の自動車被災しました。県では東松島市から被災自動車の処理の委託を受け、車両保管場所の整備や所有者の確認等の作業を行っており、現在約3,000台の被災自動車(東松島市分)の保管をしています。平成24年2月より所有者の方の意思が確認された被災自動車(県に処理を委託された被災自動車)の一部について、解体処理のための運び出し作業を開始します。



【被災自動車の保管状況】

今回は所有者の方の意思が確認できた被災自動車(371台)について搬出を行い、自動車リサイクル法に基づいた処理が行われます。また、現在所有者が不明になっていたり、処分を県に委ねるかどうかの意思を確認することができない被災自動車については、保管した被災自動車の処分に関する公告期間が終了し、準備が整い次第、処分を行う予定になっています。

## 応援職員を紹介します！

今月は、下記の2名の職員が当事務所の応援に来ておりますので、ご紹介します。



石巻で頑張ってます！

### ■東京都感染症対策課 戸来小太郎さん(医師)

今回で3回目の派遣となります。1月10日～2月3日の期間、保健所で勤務しております。周囲の皆様のご配慮により、大変快適な環境で仕事させていたいております。

石巻の街は、以前よりも明かりが増えています。復興の息吹を感じます。短い期間ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

### ■新潟県新潟地域振興局 坪川トモ子さん(保健師)

新潟県から3人の保健師が12月から1ヶ月交替で来ており、その2人目です。宮城には年々タンを食べに仙台周辺を毎年1回は訪ねておりますが、被災地を自らの目にして被害の甚大さを改めて感じています。中越大地震、中越沖地震時の恩返しを少しでもしたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

### 発行 平成24年1月31日発行

宮城県東部保健福祉事務所

企画総務課 企画調整グループ

HP: <http://www.pref.miyagi.jp/et-hc/>

問い合わせ先

Tel:0225-95-1416(代表)Fax:0225-94-8982

## 平成24年度宮城いきいき学園生募集

学習やスポーツ・文化活動を通じて仲間とのふれあいを深め、明るく楽しく充実した学園生活を体験してみませんか？宮城県社会福祉協議会では平成24年4月から学園で学ぶ学園生を募集しています。

対象：県内のおおむね60歳以上で継続して通学可能な方

募集期間：平成24年2月10日まで

入学金：5,000円

受講料：年間20,000円

定員：40名

学習会場：東松島市コミュニティセンター

学習日：第1・3水曜日

学年：2学年制 平成24年4月から2回で年間22回の学習

学習内容：「健康で豊かな人生の創出」「地域貢献活動への参加」「特別活動」等に関する講座、クラブ活動、パソコン・詩吟・調理・茶道・太極拳・社交ダンス

◆問合せ・申し込み

宮城県社会福祉協議会 いきいき健康課

いきいき学園事務局 ln 022-225-8477

### 編集後記

いちばん寒い季節がやってきました！皆さん、風邪など体調を崩したりしていませんか？

事務所では、職員もカイロを足・腰・肩にベタベタ貼りますが、業務に集中しています。

ご意見、情報ぜひ左記までお寄せください。〴〵。

復興支援ニュース 2月号

# 宮城県東部保健福祉事務所 (宮城県石巻保健所) 復興支援ニュース Vol.8 平成24年3月

## 石巻(アスベスト)予防講習会を開催しました



【講習会の様子】

石巻保健所では、石巻(アスベスト)の周辺環境への飛散状況等の監視を行っており、管内沿岸部においてパトロールや解体工事などの際に設置された石綿含有廃棄物等の回収等を行っています。今後復興に向けて解体工事が本格化することから石綿の周辺環境への飛散を一層防止し、作業する方々の安全確保を目的として、2月10日、石綿予防講習会を開催しました。

講習会には、建設関係の事業者や作業員など約100名が参加しました。当所職員が石綿に関する法令や県内の状況の説明を行うとともに、埼玉環境科学国際センターや(社)日本保安用品協会の講師から、石綿の基礎知識と石綿簡易判定手法、防じんマスクの正しい着脱方法等を講習しました。参加者はアクリルケースに取り込まれた石綿を含有するサンプルを実際に確認したり、防じんマスクの密着(気密)度等のテストを通し、知識やマスクの装着方法を習得しました。

石巻保健所では3月にも石綿含有廃棄物等の回収作業を予定しており、今後も関係機関と協力して石綿の飛散防止対策に努めます。

### ■石綿予防講習会の様子■



【防じんマスクの着脱の講習の様子】



【石綿含有サンプル確認の様子】

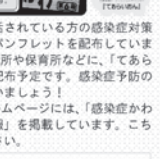
## 感染症研修会を開催しました



【研修会の様子】

昨年からインフルエンザや感染性胃腸炎が流行しています。感染症が発生した場合に適切な対応をし、感染を広めないことを目的に、石巻保健所では2月22日、研修会を開催しました。研修会には、高齢者施設の職員約40名が参加しました。感染症の基本や感染対策の講義を受け、その後、利用者がおたした場面を想定して物処理の演習を行いました。

演習後、参加者からは、「吐物は思ったより遠くまで飛ぶ」、「床を拭いたつもりでも拭き残しが多かった」等の感想がありました。



### ■感染症予防パンフレット■



復興支援ニュース 3月号

## 石巻赤十字病院仮設病棟開所

2月28日、石巻赤十字病院仮設病棟開所式が行われました。2階には50床のベッドのほかリハビリ室、1階には看護学校の図書室などがあります。仮設病棟は、主に石巻市立病院から派遣された医療スタッフが担当します。

飯沼一宇院長は、「震災後、多くの病院が被害を受け、住民の健康に影響を与え、常時入院は満床で救急患者の受け入れ等住民の要望に十分に対応できない状況が続いた。これからは地域に貢献したい。」とあいさつしました。

3月1日から入院患者の受け入れが開始されました。

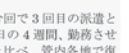
### 【開所式の様子】



【開所式の様子】

## 応援職員紹介

今月は、下記の2名の職員が当事務所の応援に来ておりますので、ご紹介します。



■東京都福祉保健局保健政策部 宮本謙一さん(医師)

昨年6月と8月に続き、今回で3回目の派遣となります。2月6日～3月2日の4週間、勤務させていただきました。前回と比べ、管内各地で復興の力強い動きが感じられ、東部保健福祉事務所でも復興に向けた様々な取り組みが着実に進んでいることを実感しました。短い期間ですが、よろしくお願いいたします。

### ■新潟県村上地域振興局 清野清美さん(保健師)

新潟県から3人目最後の派遣保健師となりました。荒海日本海とは違う穏やかで青く綺麗な冬の海は石巻の優しい住民性そのものように感じました。新巻も水害・地震・大雪の繰り返しでしたがまだ復興途中です。今自分から出来ることから取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

### 問い合わせ先

宮城県東部保健福祉事務所

企画総務課 企画調整グループ

HP: <http://www.pref.miyagi.jp/et-hc/>

Tel:0225-95-1416(代表)

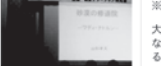
Fax:0225-94-8982

## グリーンフェア講演会

今回の大震災で、大きな悲しみに襲われている方への支援の一環として、「仙台グリーンフェア研究会」(代表：仙台市立病院清川医師)が、2月19日、講演会を開催しました。

清川医師は、「つらい状況の中で希望の見えきつかけ、生きていくための参考になればと思い開催を決めた。心の中で感じたことを持ち帰ってほしい。」とあいさつしました。講演では、講師から「一人では悲しみから抜け出せない。喪失感をもった人たちが集まり、悲しみの共有が深まるのが重要である。」などの話がありました。

### 【講演の様子】



【講演の様子】

グリーンフェア

大切な方をなくした大きな悲しみに襲われている方に対する支援。

## “がんばっぺ 石巻”

～東日本大震災から1年を越えて～

国内外からのエールと地元の心意気！！

東部保健福祉事務所

あの日大震災から1年。あつという間に過ぎて来たというのが、実感ではないだろうか。多くの尊い人命とこれまでに築き上げてきたすてきな財産を一緒に壊してしまっただけの大震災。でも、立ちすくむ私たちに生きる勇気や明日への希望を抱かせてくれたのは、国内外からの温かい支援の手ではなかっただろうか。

全国から数多くのエールが被災地に寄せられていた。その中から心温まる励ましの応援メッセージの一部を紹介する。

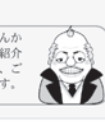
がんばろう日本 がんばろう東北 がんばろう宮城

がんばっぺ、福島、まけねど、宮城、がんばっぺ！岩手

そして、がんばろう、日本。

復興元年のことし。石巻市、東松島市、そして、女川町で復興復興計画を策定し、復興まっしぐらに全力で取り組んでいます。

この復興ニュースでは、皆さんからのメッセージもこの誌面でご紹介したいと考えております。ぜひ、ご投稿いただいたければ、幸いです。

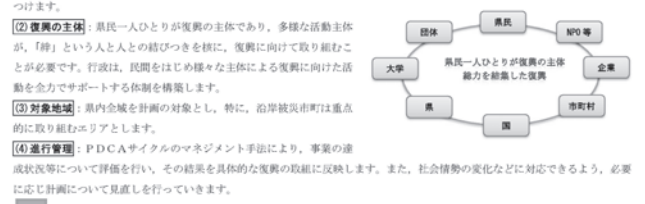


復興支援ニュース 3月号

# 復興支援ニュース『宮城県震災復興計画 特集号』 宮城県東部保健福祉事務所 (宮城県石巻保健所) 平成23年12月

宮城県議会(平成23年9月定例会)において、宮城県震災復興計画案が可決され、本計画が公表されましたので、保健・福祉・環境分野について一部抜粋してご紹介します。

- 1 策定の趣旨**  
平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、甚大な被害を受けた本県の今後10年間における復興の道筋を示すため、「宮城県震災復興計画」を策定することとしました。復興を成し遂げるには、従来とは異なる新たな制度設計や手法を取り入れることが不可欠であるため、宮城県震災復興計画は「複素な」計画としています。
- 2 基本理念**  
1 災害に強く安心して暮らせるまちづくり  
2 県民一人ひとりが復興の主体・能力を結集した復興  
3 「復旧」にとどまらない抜本的な「再構築」  
4 現代社会の課題を解決する先進的な地域づくり  
5 継続的な被害からの復興モデルの構築



- 3 基本的な考え方**  
(1) **計画期間**：復興を達成するまでの期間をおおむね10年間とし、平成32年度を復興の目標に定め、その計画期間を「復旧期」、「再生期」、「発展期」の3期に区分します。特に、復旧期の段階から、再生期・発展期に突を結ぶための復興の「種」をまき、ふるさと宮城の復興に結びつけます。  
(2) **復興の主体**：県民一人ひとりが復興の主体であり、多様な活動主体が、「絆」という人と人との結びつきを根に、復興に向けて取り組むことが必要です。行政は、民間をはじめ様々な主体による復興に向けた活動を全力でサポートする体制を構築します。  
(3) **対象地域**：県内全域を計画の対象とし、特に、沿岸被災市町は重点的に取り組むエリアとします。  
(4) **運用管理**：PDCAサイクルのマネジメント手法により、事業の達成状況等について評価を行い、その結果を具体的な復興の取組に反映します。また、社会情勢の変化などに対応できるように、必要に応じて計画について見直しを行います。
- 4 緊急重点事項**  
1 被災者の生活支援  
2 被災者の住宅確保  
3 被災者の生活再建  
4 被災者の生活再建  
5 被災者の生活再建  
6 被災者の生活再建  
7 被災者の生活再建  
8 被災者の生活再建  
9 被災者の生活再建  
10 被災者の生活再建  
11 被災者の生活再建

## 5 復興のポイント

復旧にとどまらない抜本的な「再構築」を行い、先進的な地域づくりを行っていく必要があるため、下記事項を復興のポイントとし、その実現に向けて国へ提案・要望するとともに、県民や市町村と一体となった取組を推進していきます。

- 1 災害に強いまちづくり宮城モデルの構築
- 2 水産漁みやぎの復興 (※1)
- 3 先進的な農林業の構築
- 4 ものづくり産業の早期復興による「富強宮城の実現」
- 5 多様な魅力を持つみやぎの観光の再生
- 6 地域を包括する保健・医療・福祉の再構築 (※1)
- 7 再生可能なエネルギーを活用したエコタウンの形成
- 8 災害に強い県土・国土づくりの推進
- 9 未来を担う人材の育成
- 10 復興を支える財源・制度・連携体制の構築



- 6 分野別の復興の方向性**  
政策全般について、分野ごとの復興の基本的な方向性を掲げ、復旧期・再生期・発展期の各段階を踏まえて効果的な施策の展開を図ります。  
復興に当たっては、地域の実状にあった福祉政策、都市政策、交通政策など各分野の施策を統合し、横断的な施策展開を図るとともに、ものづくり産業や観光の分野などで内閣府と沿岸部の連携を深め、全県的な復興に取り組まします。  
最終的には、本県の長期総合計画である「宮城の未来ビジョン」に掲げた「富強宮城の実現」、「安心と活力に満ちた地域社会づくり」、「人と自然が調和した美しく安全な国土づくり」の政策推進の基本方向に基づき、県民が優勢の発展を実感できる地域社会を実現していきます。  
具体的な施策内容及び宮城県東部保健福祉事務所(石巻保健所)の関連事業については、裏面をご覧ください。  
◆「宮城県震災復興計画」の詳しい内容は、宮城県のホームページに掲載していますので、ご覧ください。  
URL: <http://www.pref.miyagi.jp/seisaku/>  
宮城県震災復興計画  
宮城県震災復興計画<概要>  
宮城県震災復興計画事業概要

## ■ 分野別の復興の方向性：施策体系

- (1) 環境・生活・衛生・廃棄物**  
1 被災者の生活環境の確保  
2 被災者の住宅確保  
3 安全な住環境の確保  
4 地域コミュニティの再構築  
5 廃棄物の適正処理  
6 被災者の生活再建  
7 被災者の生活再建  
8 被災者の生活再建  
9 被災者の生活再建  
10 被災者の生活再建  
11 被災者の生活再建
- (2) 保健・医療・福祉**  
1 安心して暮らせる地域医療の確保  
2 被災者の健康支援  
3 ハード・ソフト両面の医療提供体制の整備  
4 保健・医療・福祉連携の推進  
5 被災した子どもと親への支援  
6 被災した子どもと親への支援  
7 被災した子どもと親への支援  
8 被災した子どもと親への支援  
9 被災した子どもと親への支援  
10 被災した子どもと親への支援  
11 被災した子どもと親への支援

■宮城県東部保健福祉事務所(石巻保健所)は、「宮城県震災復興計画」に掲げる下記の事業を実施、支援しています。  
(関連事業のみ抜粋)  
**施策①(1)② 被災者生活再建支援法**  
震災で発生した膨大な量の災害廃棄物の処理を迅速かつ適正に行うため、1年以内被災地から搬出し、廃棄物の再生利用を図りながら3年以上に処理を完了させます。  
■災害等廃棄物処理事業  
CR 問い合わせ先：廃棄物対策課 ☎ 0225-95-1447

**被災廃棄物処理事務所**  
県では、石巻市東部野球場において地域(石巻市・東松島市・女川町)で発生した廃棄物等のうち災害廃棄物約690万トン、津波堆積物200万トンについて中間処理等の委託を市町村から受け、能高建設(株)を中心とする9社の特定建設工事共同企業体と処理の契約を結びました。それらの処理等が円滑に進むよう、現地に開設された石巻事務所が中心となって関係市町や現場との調整、指導を行っています。

**施策②(1)② 地域全体で子ども・子育てを支える**  
多様なニーズに対応した保育サービスの促進など子育て環境の向上を図りながら、子どもや母親等の健康の確保に努めるとともに、「子育て支援を進める県民運動」等の展開により、被災者の将来を担う子どもたちや子育て世帯等を地域社会全体で支えていく取組を進めます。  
■DV被害者支援対策事業  
CR 問い合わせ先：母子・障害課 ☎ 0225-95-1431

■被災者の健康支援  
避難所、応急仮設住宅、在宅の被災住民の健康の保持増進や病気の早期発見等のため、看護職員による健康相談、歯科医師等による歯科健康相談、栄養士による食生活支援、リハビリテーション専門職による運動指導等の支援を行います。  
■食生活支援事業  
■リハビリテーション支援事業  
■歯科保健支援事業  
CR 問い合わせ先：成人・高齢課 ☎ 0225-95-1419

■被災した子どもと親への支援  
震災で親を失った子どもなど、保護が必要となった子どもを養育するため、里親や児童福祉施設等での生活の確保を図ります。被災した子どもたちを支援します。また、面談相談などを行う「子どものこころのケアチーム」の活動を拡充するなど、子どもたちの心のケアを進めるとともに、母子世帯に対して修学・住宅・生活等の各種の資金を貸し付けるなど、ひとり親家庭等に対する経済的な支援を行います。  
■母子自立支援員設置事業  
■母子世帯福祉資金貸付事業  
CR 問い合わせ先：母子・障害課 ☎ 0225-95-1431

■被災者の心のケア  
震災に伴うPTSD等の心の問題に長期的に対応するとともに、被災精神障害者の医療と地域生活を支援します。また、県民の自殺予防のための広報啓発など自殺予防対策を推進します。  
■精神障害者アウトリーチ推進事業  
■自殺対策緊急強化事業  
CR 問い合わせ先：母子・障害課 ☎ 0225-95-1431